（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	外間　昭	所　属	第一内科	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	系統講義、ポリクリ学生への腹部X線読影指導、研修医への診療指導、　　内視鏡担当医への技術指導	0.10	系統講義、ポリクリ学生への腹部X線読影指導、研修医への診療指導、内視鏡担当医への技術指導を行った。
研究	0.30	英文原著 1報、英文総説 2報、英文症例報告・短報 3報の採択	0.20	英文原著 1報、英文総説 1報、英文症例報告・短報 2報の採択を達成した。
社会貢献	0.00		0.05	欧米学会雑誌から依頼された12件の論文査読を行った。
管理運営	0.00		0.00	
進路指導	0.10	大学院生の研究指導、学位論文の採択	0.15	大学院生の研究指導を行い、学位申請に供しうる論文の採択に導いた。
診療	0.50	外来診療（週2日）、内視鏡検査（週2日）、入院患者回診の継続	0.50	外来診療（週2日）、内視鏡検査（週2日）、入院患者回診を継続した。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	比嘉　太	所　属	第一内科	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	学部講義（感染症系２枠、呼吸器系２枠）を担当し、配布資料およびスライドを適切に準備した判りやすい講義を行う。臨床実習において、PBLに準拠した講義を行う。呼吸器系および感染症経の診療および検査に関して実地に適切な指導を行う。	0.30	学部講義（感染症系２枠、呼吸器系２枠）を担当し、配布資料およびスライドを適切に準備した判りやすい講義を行った。呼吸器系および感染症系の試験問題作成、試験の実施を担当した。臨床実習において、PBLに準拠した講義を行った。呼吸器系および感染症経の診療および検査に関して実地に適切な指導を行った。大学院生3名の研究について直接指導を行った。論文掲載2本、論文投稿1本、学会報告多数を指導した。
研究	0.29	一般内科学、呼吸器内科学、感染症学に関する基礎研究および臨床研究の計画・実施・遂行を行い、これを学術誌に報告掲載する。大学院生（博士課程）の研究計画・実施・遂行について指導を行う。附属病院医員などによる臨床研究の遂行および学術論文の作成・投稿・掲載について指導する。競争的研究資金を確保する。	0.28	一般内科学、呼吸器内科学、感染症学に関する基礎研究および臨床研究の計画・実施・遂行を行い、これを学術誌に報告掲載した（英文11報および邦文1報）。大学院生（博士課程）の研究計画・実施・遂行について指導を行った。附属病院医員などによる臨床研究の遂行および学術論文の作成・投稿・掲載について指導した。平成24年度科研費は獲得できなかった、25年度科研費について十分な準備のうえ申請を行っている。
社会貢献	0.30	附属病院での診療、沖縄県南部保健所感染症審議会　委員長（平成24年度～）、琉球大学附属小中学校結核対策委員（平成23年度～）日本感染症学会（評議員、院内感染相談員）日本化学療法学会（評議員、学会誌編集委員、など）日本環境感染学会（学会誌編集委員）	0.30	附属病院での診療は週2～3回行い、年間でのべ1200名以上の患者診察を行っている。沖縄県南部保健所感染症審議会委員長として月２回の会議を運営している。各種学会の評議員あるいは学会誌編集委員として公的な学術活動に貢献している。
管理運営	0.10	第一内科外来医長、附属病院感染対策室員、感染対策委員会委員、保険診療専門部会委員、薬剤安全管理委員会委員	0.10	第一内科外来医長として外来の安全かつ円滑な運営を行った。感染対策室員として琉球大学医学部附属病院の感染対策に貢献した。保険診療専門部委員および薬剤安全管理委員として、薬剤安全業務の改善および経営改善に努めた。
進路指導	0.01	個別の相談にしっかりと対応する。大学病院における初期臨床研修および後期専門研修の意義を指導する。	0.02	学生講義実習の現場あるいは懇親会の場などリラックスした環境でも学生および研修医師などと、今後の進路について話し合う時間を十分にとった。大学病院における初期臨床研修および後期専門研修の意義を説明し、理解を得た。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）					
名　前	宮城一也	所　属	医学部附属病院　第一内科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	●病棟実習において、活発に意見を述べることができる環境を作る ●可能な限り実技を見学させ、その方法や意義の理解を深める方法を 構築する ●講義において学生がより興味を持てるよう常に内容を更新する	0.30	●病棟回診、レクチャーにて学生や研修医に積極的な発言を促すことができた ●クリニカル・クラークシップの意義を理解し積極的に臨床に参加させることがで　きた。 ●系統講義に関してはもう少し工夫が必要と感じた。
研究	0.25	●学会でぼ発表を積極的に行う。 ●発表したものに関して学会誌へ投稿する。 ●常に基礎研究と臨床の接点を模索する	0.25	●積極的に学会発表を行えた。また指導医として研修医にも学会発表を指導できた。 ●学会誌への投稿を行ったが、数は少なかった。
社会貢献	0.10	●学外の研究会に積極的に参加し、機会があれば発表も行う	0.05	●学外への研究会での発表、参加を行えた。ただ数はやや少なかった
管理運営	0.05	●内視鏡運営の小委員会へ出席し、よりよい検査の提供のために提案を行う。	0.05	●手術委員会へ出席し、手術室での局所麻酔化胸腔鏡の施行を可能とした
進路指導	0.10	●医学部生、初期、後期研修医と積極的にコミュニケーションをとり各々にあったアドバイスを行うように心がける	0.10	●可能な限り、医学部性、初期、後期研修医とコミュニケーションをとるよう心がけてはいたが、もう少し積極的に話しかけても良かったと思う
診療	0.25	●外来診療において可能な限り患者さんを待たすことのないようこころ がけ、また診療の質も落とさないよう留意する ●他院からの紹介に対し適切な検査、治療を行うことでさらに連携を深め ていく ●病棟診療においてエビデンスに基づいた診療を行うことはもちろんの こと、常に患者様の不安を取り除けるよう気を配る。	0.25	●外来診療では待ち時間が長くなりそうな方には先に食事に行ってもらうなど、待合室での待ち時間を極力短くするように心がけることができた。 ●他院からの紹介に対し適切に対応できた。 ●病棟診療においても常に患者様に分かりやすい言葉をつかって現状などを説明することができた。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	前城　達次	所　属	第一内科	職　名	特命助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	学部学生の双方向性に近づける。 臨床実習学生に対するベットサイドサイドティーチンングの充実	0.10	クリニカルクラークシップに従って学生実習を行った。
研究	0.20	臨床研究の遂行。英文誌への論文投稿を1編以上行う。科研費の獲得。	0.15	肝炎ウイルスの疫学的研究と超音波を使用した肝の線維化評価に関しての臨床研究は進行中であるが論文投稿ができていない。
社会貢献	0.30	肝疾患拠点病院として医療情報収集や一般市民及び医療従事者向けの講演会の開催など。	0.25	一般市民及び医療従事者向けの講演会の開催は企画どうり行えたが、医療情報の収集は不十分であった。
管理運営	0.00	なし	0.00	なし
進路指導	0.00	なし	0.00	なし
	0.40	附属病院における診療活動の充実	0.50	附属病院における診療活動の充実
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	仲松　正司	所　属	琉球大学医学部附属病院　感染対策室	職　名	特命助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	主に研修医に対して感染症診療のレクチャーを行っていく	0.20	上半期に研修医向けに感染症レクチャーを行ったが、継続して行うことが出来ず、次回への課題である
研究	0.10	感染対策の一環として各種サーベイランスを実施する	0.10	感染制御として、抗菌薬使用者への診療支援、ICTラウンドへの参加を行った。
社会貢献	0.00		0.00	
管理運営	0.10	感染対策医員の一員として、院内の感染対策会議などの運営に協力していく。	0.30	アウトブレイクへの対応等感染制御部の一因として仕事を行った
進路指導	0.00		0.00	
診療	0.50	血液培養陽性例への診療支援、コンサルトによる感染症治療支援を科を超えて行っ	0.40	血液培養陽性例への診療支援、コンサルトによる感染症診療支援をおこなった
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	屋比久　浩市	所　属	医学部附属病院　第二内科	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	学生向け講義・教育・指導を徹底する。研修医の指導[問診・理学所見のとり方、疾患鑑別、治療、他、(ホルモン)採血等のスキル]。大学院生や研究初心者の指導[技術的な指導の他に、研究の進め方、解析方法等]。	0.20	臨床実習学生に対して講義、外来指導(鑑別診断・身体所見の取り方)を実施できた。M3とM4の学生に対して臨床講義を2コマ担当した。当初の目標を達成している。
研究	0.30	代謝内分泌、特に生活習慣病関連の研究および英語論文化を積極的に進める。研究費や特許取得を目指す。	0.30	現在、投稿中の論文や、数編の研究が新たにまとまりつつあり(実験・臨床データをまとめ、解析を行い、論文作成中であり)、当初の目標を達成している。
社会貢献	0.30	研究結果の論文化による公表、および国内外学会での発表、講演発表、研究結果の臨床現場への還元(患者さんへの生活指導)	0.30	研究に関する成果報告として年数回の学会、研究会参加を実施できおり、当初の目標を達成している。
管理運営	0.10	臨床研修センター会議や保険診療専門部会での管理運営等、職責を充分に全うする。	0.10	臨床研修センター会議のや保険診療専門部会での管理運営等出席し、特に指導医研修セミナーではタスクフォースとして講演し、指導にあたっており、当初の目標を十分に達成している。
進路指導	0.10	学生、研修医、教室員に積極的に関わり、進路指導をキャリアブランディングを積極的に支援する。	0.10	学生や研修医の進路指導に積極的に関与し、一定の成果をあげることができ、当初の目標を達成できた。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	池間　朋己	所　属	医学部附属病院第二内科	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	系統講義・臨床実習で指導を行う。	0.15	系統講義で指導および試験問題作成をおこなった。M5総合試験の作問を行ったOSCEにて頭頸部ステーション責任者を務めた。達成できた。
研究	0.15	論文作成・学会発表を行う。	0.00	達成できなかった。
社会貢献	0.05	小児糖尿病サマーキャンプの運営　糖尿病週間への参加	0.05	小児糖尿病サマーキャンプの運営・参加したので達成できた。
管理運営	0.30	医局長として教室の運営・管理　各種院内会議への出席	0.40	医局長として教室の運営・管理　各種院内会議への出席
進路指導	0.00		0.00	
診療	0.40	患者の外来・病棟診療・後輩医師への診療指導　学校医としての診療	0.40	患者の外来・病棟診療・後輩医師への診療指導　学校医としての診療は達成できた。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	砂川　澄人	所　属	医学部附属病院　第二内科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	学生へ基礎講義及び病棟実習を通じた指導教育を行い知識定着を図る。	0.10	ポリクリ実習全グループに対して講義、総回診指導、外来指導を実施できた。
研究	0.10	臨床研究としてメタボローム解析を推進する。	0.20	琉球大学の倫理委員会に研究実施に向けての承認を得た。共同研究者である沖縄科学技術大学院大学と共同で検体採取および処理の準備を整え、平成24年12月から採取を開始した。
社会貢献	0.15	啓蒙活動として糖尿病週間の講演会や健康相談などのイベントを行う。 小児糖尿病のサマーキャンプに参加する。	0.10	糖尿病週間関連の沖縄での講演会及び無料血糖測定会などについて運営に関わった。また小児糖尿病のサマーキャンプに参加し啓蒙につとめた。
管理運営	0.10	リスクマネージャー、及び臨床研修医の第二内科チューターとして運営に関わる。	0.10	第二内科病棟のリスクマネージャーとして月1回の連絡会議に参加し、また病棟で発生する医療リスクの軽減につとめた。臨床研修医のチューターとして運営に関わった。
診療	0.55	第二内科病棟の患者の診療、及び外来での専門外来診療に携わる。	0.50	第二内科病棟、及び内科外来にて内分泌・代謝・膠原病疾患の患者に対し診療に携わった。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	仲村英昭	所　属	医学部附属病院第二内科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	学生、初期研修医を対象としたレクチャーを行う。	0.10	学生向け講義を1回、初期研修医を対象としたレクチャーを2回実施した。
研究	0.10	研究活動に目標を持って取り組み、積極的に関与する。	0.10	研究活動に目標を持って関わることができた。
社会貢献	0.20	県医師会や学会における発表や、糖尿病サマーキャンプにおける活動に取り組む。	0.20	糖尿病学会、内分泌学会における発表、糖尿病サマーキャンプにおける活動に取り組むことができた。
管理運営	0.10	院内・学内の各種委員会における職責を全うする。	0.10	各種委員会における職責を果たすことができた。
進路指導	0.05	学生、研修医に対し、内科医としての知識や心構えなどを伝えていく。	0.10	診療を通じて、学生、研修医に対し、内科医としての知識や心構えなどを伝えていくことができた。
臨床	0.45	入院患者、および外来患者の治療に積極的に取り組む。	0.40	入院患者、および外来患者の治療に積極的に取り組むことができた。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）					
名　前	古波蔵健太郎	所　属	第三内科	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	担当授業の拡大、授業内容の改善、PBLに沿った研修医教育スキルの向上、医員に対する専門医教育の充実（系統だったカリキュラムの整備、教育手法の確立)と臨床研究指導、大学院生の研究指導	0.20	授業で使用する資料をよりわかりやすくした。、医員に対する専門医教育のための資料作成、ミニレクチャー、最新の情報提供などを行った。腎グループとして培ったノウハウを蓄積しつつある。大学院生の研究を指導して国内学会で発表させた。学会や県内の講演会を通じて専門領域の教育を行った。
研究	0.30	IgA腎症の臨床研究、慢性腎臓病患者における高尿酸血症に関連した臨床研究について血管内皮機能との関連や腎内RASとの関連について検討して発展させる。その他、臨床研究の論文投稿を進めていく。　当施設の症例を登録してコホートをつくる。	0.40	IgA腎症の前向きスタディのフォローがあと半年ほどで終える予定。炎症マーカーと血管内皮機能や腎細動脈との関連について検討し学会で発表した。腎細動脈と尿酸との関連に関する臨床研究が専門誌にアクセプトされた。TGとC3の尿蛋白に対する相互作用について検討し海外の学会で発表した。
社会貢献	0.20	地区医師会、栄養士会、企業の保健士、地域住民むけの講演会を行う。総合保健協会や大学保健管理センターと連携して健診システムのなかで検尿及び腎機能に関して効果的な運用をサポートする。西部腎臓学会の運営を通して慢性腎臓病の新たな知見を社会に還元できるようにする。	0.20	地域の医師、一般住民などを対象とした様々な講演会を行った。慢性腎臓病対策に関する新たなシステム作りに関しては、西原町の保健師、栄養士さんなどと協力し地域住民を対象に大学病院の専門医への紹介と地域フォローから連携を始めつつある。
管理運営	0.20	腎グループの医員を統括し、グループ全体としての臨床および研究の目標設定およびその達成に向けて努力する。	0.20	定期的にチームとしての方向性を示し、さらに各医員の特徴を生かせるように個別に方向性を示してサポートした。臨床並びに研究面での進捗管理とサポートを行った。グループ内の人間関係の調整を図り、チームとして機能が発揮できるような環境作りを行った。 病院再整備推進委員会において、病棟WG長として再整備事業に関わった。
進路指導	0.00		0.00	
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）					
名　前	石田明夫	所　属	第三内科	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	・学生が自己学習意欲をもつような教育を実践していく. ・専門性を高めながら，相互学習・研究活動を継続していく. ・M5学生の講義を充実させる.	0.30	・講義において質疑応答形式で学生の意欲を高めるようにし，アンケートでは良好な反応を得た。 ・医師国家試験過去問題の解説を交えた臨床講義を行い学生の学習意欲向上を図った. ・教育連絡者会議委員など各種委員会活動を行った.
研究	0.30	・臨床研究（血圧調節に関する）を学会・論文発表していく. ・これまでの研究からでてきた新たな課題の研究を進めていく. ・先進医療として認められた細胞治療を県内で進めていく. ・骨髄由来培養細胞の中枢性血圧調節および肺高血圧モデルに対する研究を進めていく。	0.30	・第２２回欧州高血圧学会でBest Posterを受賞 ・第１２回脈波研究会で最優秀演題を受賞 ・第１４回沖縄血管病態研究会で最優秀演題を受賞 ・欧州心臓病学会関連雑誌への論文受理 ・骨髄由来細胞を利用した共同研究で国際学会（高血圧，米国心臓病）で発表
社会貢献	0.20	・大学病院・一般病医の診療を通して動脈硬化性疾患の診療を行なう.　・臨床研究から得られた知見を広めていく. ・他施設・クリニックとの病診連携を継続して発展させていく.	0.20	・大学病院および一般病院において動脈硬化性疾患、高血圧，腎疾患などのコンサルトに対応 ・研究会における講演をおこない臨床研究から得られた新たな知見を発表 ・学術誌の査読
管理運営	0.10	・内科外来スタッフと連携し，円滑な外来診療体系を構築する. ・薬事審議への参加・協力.	0.10	・薬事審議会，病院再整備推進委員会（外来，先進）として意見を述べ役割を果たした ・CBTなど試験問題作成 ・外来医長として外来スタッフと連携して外来診療を円滑に行う体系作り
進路指導	0.10	・学生・研修医・医局医員との進路についての積極的に相談に応じる.	0.10	研修医・学生の進路相談に対応
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	伊佐勝憲	所　属	第三内科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.35	①M4講義（神経系、脳血管障害）担当、②M4に対するProblem based learning のファシリテータおよび教員への指導，③M5M6臨床実習生へ問題指向型医学診療録作成講義、臨床実習支援、④卒後臨床研修共通講義プログラム作成委員、⑤脳卒中初期臨床（ISLS）コースの実施（平成24年夏および秋ごろ予定）	0.35	①M4講義（神経系、脳血管障害）担当を行った。②③PBL方式教育の教員向けWSにファシリテータとして参加した。M5M6臨床実習生を対象に問題指向型医学診療録作成講義、臨床実習支援を行った。④卒後臨床研修共通講義プログラム作成を委員として行った。⑤脳卒中初期臨床（ISLS）コースは開催できなかった。
研究	0.35	①脳卒中専門医専攻後期研修医および医員の論文および症例報告論文作成の支援、②宮古島研究における脳卒中発症率に研究の論文作成支援、③脳ドックデータベースによる臨床疫学研究の計画、倫理委員会、研究費申請、④脳梗塞に関する前向き予後実態調査、⑤おきなわ脳卒中地域連携事業のデータ解析，⑥ISLSコースの教育的効果確立に関する研究の計画	0.35	①臨床研究論文（英文1編）および症例報告（英文1編、和文1編）を報告した。②宮古島研究結果は英文誌掲載予定である。③脳ドックデータベースによる臨床疫学研究の結果を、国際学会等で報告し、現在英文誌に投稿中である。④脳梗塞に関する前向き予後実態調査を県内17施設を対象に開始した。⑤おきなわ脳卒中地域連携事業のデータ解析結果を県医学会誌に掲載した。⑥ISLSコースの教育的効果確立に関する研究結果を県医学会誌に掲載した。
社会貢献	0.10	①日本脳卒中協会沖縄県支部副支部長としての業務（脳卒中週間広報活動、市民公開講座の実施、脳卒中無料相談業務、市民向け啓蒙番組の作成，脳卒中対策基本法早期制定要望の署名活動）、②おきなわ脳卒中地域連携事業の推進	0.10	①脳卒中県民公開講座を2回開催した。脳卒中市民啓発番組を琉球放送テレビおよびラジオで放送した。②おきなわ脳卒中地域連携事業の維持期医療機関の拡大活動を行った。
管理運営	0.10	①病棟回診および外来診療業務、②病棟退院診療録の作成管理	0.10	①病棟回診および外来診療業務および②病棟退院診療録の作成管理を滞りなく行った。平成24年12月より、第三内科（９東）病棟医長となった。
進路指導	0.10	①医員の日本内科学会認定医取得支援、日本神経学会神経内科専門医の取得支援、日本脳卒中学会専門医取得支援	0.10	①医員の日本内科学会認定医取得支援、日本神経学会神経内科専門医の取得支援を各1名ずつ行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	伊敷哲也	所　属	第三内科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	循環器内科診療における基礎的知識の習得と解釈力の向上をめざす。さらに問題解決能力の習得をめざす。ベッドサイド実習を充実させ、診察手技能力の向上をめざす。	0.05	ベットサイド実習にかける絶対的な時間が不足している。
研究	0.40	「心不全病態と活性酸素の関連」「心不全診療で使用される新規利尿薬に関する多施設共同研究」「超音波装置を使用した血管内皮機能検査の臨床応用に関する多施設共同研究」をすすめる。	0.10	心不全診療における新規利尿薬に関する他施設共同研究へ3例が登録された。血管内皮機能に関する研究は、すべての登録が終了し、フォローアップに移行している。
社会貢献	0.10	最新の治療や研究に関する情報を各種情報媒体を利用して発信する。	0.10	肺高血圧症に関する臨床でのデータを研究会等で発表してきた。今後は肺高血圧症の早期診断、重症肺高血圧症の新規治療の開発などに関する基礎、臨床研究をすすめる。
管理運営	0.20	外来診療業務における外来患者待ち時間の短縮をめざす。入院診療業務では業務の効率化を図り、可能なかぎり入院期間の短縮をめざす。医療安全に関わる職場環境整備をすすめる。	0.20	外来診療業務におけるスタッフの増員を通じて、状況はかなり改善している。今後は各分野の専門スタッフの充実と、レベルアップをはかり、さらに入院・外来診療の効率化をすすめ、医療の安全管理、危機管理の充実をすすめる。
進路指導	0.10	学生や研修医の進学や就職の支援。	0.05	支援に必要な十分な情報がない。
診療	0.00		0.50	虚血性心疾患、不整脈疾患、先天性心疾患などの幅広い分野の患者を対象に診療が展開している。そのためあらゆる診療背景に基づいた重症心不全へ対処し、かつ高度の医療を提供する必要がある。それを支えるために、各専門医師に加えて、心臓リハビリテーション医を中心とした多職種連携（看護師、薬剤師、栄養師、理学療法士）の充実が必要である。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	野里　栄治	所　属	消化器腫瘍外科学	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	医学部学生への講義（消化器外科領域）。 病棟実習学生への教育、指導。	0.10	医学部学生への講義を担当。臨床実習生の指導。
研究	0.30	外科・消化器外科領域での臨床研究を学会等で報告。	0.30	第77回大腸癌研究会 2012/7/6 2012/7/6 東京 Conversion Surgeryが可能となった進行再発大腸癌4例の経験 第67回日本消化器外科学会総会 2012/7/18-20 2012/7/18 富山 原発性虫垂癌8例の検討 第28回九州ストーマリハビリテーション研究会 2012/9/21-22 2012/9/21 福岡 Parietex Parastomal Meshにより修復したストーマ傍ヘルニアの1例 第37回日本大腸肛門病学会九州地方会 2012/9/21-22 2012/9/21 福岡 第10回日本消化器外科学会大会 2012/10/11-13 2012/10/11 神戸 大腸術後における大建中湯の効果 第50回日本癌治療学会学術集会 2012/10/25-27 2012/10/25 横浜 大腸低分化腺癌・粘液癌・印環細胞癌症例の検討 第67回日本大腸肛門病学会学術集会 2012/11/16-17 2012/11/16 福岡 当科における大腸癌脳転移症例の検討 第18回教育セミナー　日本癌治療学会 2012/10/27 2012/10/27 横浜 第20回沖縄大腸疾患研究会 2012/11/22 2012/11/22 沖縄 Crohn病に対するK(S)式吻合の成績
社会貢献	0.50	地域医療への貢献。	0.50	附属病院での診療（消化器外科手術、外来診療、検査）。関連病院での診療。
管理運営	0.00	なし。	0.00	なし。
進路指導	0.10	臨床実習学生への指導。	0.10	臨床実習生への指導。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	佐村　博範	所　属	第一外科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	ポリクリ学生に対して(1)医療行為を経験させるクリニカル･クラークシップ型の外科臨床実習を行う。(2)臨床実習を通してのclinical questionあるいは興味あるテーマに関し英語論文の抄読会を担当させ論文リサーチスキルと適正な読解力および理論的思考法の指導を行う。(3)講義において疾患概念と特徴と問題点、および現在の専門医会でのコンセンサスを教授する。	0.15	(1)ポリクリの期間の受け持ち症例を術前から術後まで通して診療する臨床実習を行った。また、相当期間に可能な限り外科手技を教授し施行させる事ができた。(2)同じくプロクリ期間に英文抄読会を担当させる事でリサーチスキル、読解力および論理的思考法を深めるべく指導した。(3)講義を通して教示した事を試験で確認できた。 1Wで終わるグループには余り指導できなかった。
研究	0.30	(1)担当専門領域に属する他の教員と共同で、消化器外科領域の臨床医研究成果を学会で発表する。(2)同じく論文作成報告する。(3)九州地方での臨床研究区ループにプロトコール委員および推進委員として参加し、地域共同研究を学会報告および論文報告する。(4)全国規模の臨床試験に参加し、evidenceの構築に寄与出来る診療体系を構築する。	0.15	消化器外科の臨床研究成果を学会および研究会で報告した。 臨床研究グループでは試験の遂行と新しい試験の提案を行った。同研究グループでの研究成果の論文化も進行している。
社会貢献	0.10	(1)県医師会に参加し、地域医療に貢献する。(2)地域病院で主に手術応援を通して消化器外科最先端の技術を実地指導する。(3)九州地域および全国規模の臨床研究グループに参加し臨床実績を公正に評価報告することで本邦における診療のエビデンスを確立する。	0.15	県内の大腸関疾患連研究会にて司会および座長をつとめ啓蒙に寄与した。 関連施設に手術応援を通して技術指導が行えた。
管理運営	0.30	(1) 医学部教授会、病院運営委員会、などの医学部および病院委員会の資料から管理運営に貢献できる分野を確認し、適切な事務処理および医療資源の節減を通して管理運営に寄与する。(2)病院再整備準備室に参加し次期病院構想に参画する。	0.20	各種委員会、がん診療連携協議会部会での活動、再整備準備室の活動を通して運営管理に貢献できた。
進路指導	0.05	ポリクリ学生および前期臨床研修医と積極的にコミュニケーションをとり、進路選択の一助となるよう相段に応じる。また、参考となる様、担当科（消化器一般外科）の実際を適宜説明する。	0.05	知識・技術の教示とともに当科の特色・魅力を説明した。
	0.00	医学部附属病院では自科単独あるいは他科と共同で集学的医療を行うことで難易度の高い手術を行っている。特に他科との共同では機能温存手術、根治性の高める工夫をした手術を施行する。	0.30	機能温存手術、集学的治療＋他科合同手術により専門性の高い高度医療を実践できた。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	佐辺　直也	所　属	第一外科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	講義：基本として押さえるべきものに加え、最新の情報も加え実際臨床での画像を多く取り入れる。ポリクリ：今まで講義で習ったものを確認しながら、実際の臨床の現場を見学させ、可能な範囲で参加してもらう。	0.20	医学科学生の講義を担当し、その到達状況をポリクリ移行試験や卒業試験で確認できた。病院実習では、朝夕の回診や外来診療の見学、手術での指導を施行し目標を達成できた。
研究	0.10	学会発表を年間最低でも3回は行いたい。その中で出来れば1つは論文にしたい。	0.10	学会発表は、なんとか3回は行うことができ目標を達成できたが、論文の作成はできず達成できなかった。
社会貢献	0.10	今年度は学会の地方会が沖縄県で開催されるので成功するように努力する。市中病院で診療を行うことで、地域病院で診療を行い、地域医療に貢献する。	0.10	無事学会を行えることができ、目標は達成できた。また地域病院で週に2回外来及び内視鏡検査を行い地域医療に貢献できた。
管理運営	0.05	初期臨床研修センターの部会に参加し、研修講義プログラムの作成や見直しを行い初期研修を充実したものにする。	0.05	初期臨床研修の部会は外勤の時間と重なり、ほとんど参加できなかったが、その他の集まりや、研修等に参加した。また病院運営会議やその他の部会等に代理参加し目標は達成できた。
進路指導	0.10	後継者育成のために、外科医になりたがらない原因を追及し、可能な限り改善して多くの後継者を育成する。また研修プログラムも常に検討しながら、よりよいものにしていく。	0.10	5、6年生の病院実習時に、臨床医として現在置かれている社会的立場や役割等を説明し進路指導を行った。以上から目標は達成できた。
診療	0.45	小児外科領域における最新の治療法を、多くの症例に行っていく。沖縄県における出生前診断された先天性横隔膜ヘルニアは全例当院で治療しており、その治療成績は、全国でもトップレベルにあり成績が悪くならないようにしていく。	0.45	今年度手術症例は、若干少なかったが、沖縄県では当院のみでしか行っていない最新の治療を行い目標は達成できた。新生児疾患については例年通り手術を行い目標達成できた。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	狩俣　弘幸	所　属	消化器・腫瘍外科学講座	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	医学部医学科の学生に対して：画像を取り入れた視覚に訴える講義を行う．講義の理解にカギとなる図表などは学生に配布する．シミュレーション器材を利用した外科手技実習を行う．	0.30	医学部医学科の学生に画像を取り入れた講義を行った．図表など講義内容をは学生に配布した．シミュレーション器材を利用して外科手技実習を指導した．
研究	0.30	他の教員と共同で，消化器外科学領域の研究成果を学会などで発表する．１編以上の論文を執筆し，発表する．	0.40	６学会で発表を行った．論文は１編執筆し，投稿中である．
社会貢献	0.10	医療行政に関連する行事に参加し，自らの専門知識によって地域医療に貢献する．	0.00	特に行っていない．
管理運営	0.10	医学部，医学部付属病院の各種委員会に参加して管理運営に貢献する．	0.10	各種委員会の会議に参加した．
進路指導	0.20	臨床実習でローテートしてくる学生に授業・実習の履修状況を聴取し，適切な指導を行う．卒後の進路について，学生自ら進路決定を適切に判断できるように助言を行う．	0.20	臨床実習でローテートしてくる学生に，実臨床，手術を通して実習の履修状況を聴取し，指導を行った．
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	国仲　弘一	所　属	医学部附属病院　第一外科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.05	研修医への講義・実技指導。医学部学生、大学院生への講義。病棟実習生への指導・講義。	0.05	十分行えた
研究	0.10	乳がん・甲状腺疾患に関する研究。学会発表及び誌上発表。	0.10	十分行えた
社会貢献	0.05	地域での講演活動や研究会、患者会等への出席。	0.05	十分行えた
管理運営	0.05	病院運営に関する各種会議への参加。	0.05	十分行えた
進路指導	0.05	研修医、学生への進路指導。	0.05	十分行えた
診療	0.70	乳がん・甲状腺疾患の診療。	0.70	十分行えた
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）						
名　前	平安　恒男		所　属	第二外科	職　名	講師
領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果		
教育	0.30	臨床実習生(M5,M6)に対して、外来および病棟(ベッドサイド)で呼吸器外科領域における基本的な知識・手技を教育する。また、手術症例を担当させ、症例報告レポート作成させる。初期研修生に対しては、実際に手術手技および検査手技を実践させ、その知識に加え手技を習得させる。	0.10	臨床実習生（M5,M6）、および初期研修生に対しての教育を行ったが、実際の分配時間の割合は、予定より少なかった。これは、以下に示す大学院生の実験・研究指導に重点を置いたためであり、実施できなかった分は、他の教官が担当した。		
研究	0.25	呼吸器外科分野の疾患において臨床研究を行い、当該学会発表および論文提出を行う。また、当科大学院生と共に気管狭窄病変を想定した動物実験を行い、経過・結果を随時学会、研究会に報告・発表する。	0.50	大学院生の研究課題に対し、実験指導・データの解析を中心に指導した。本年は実験を重点的に行い、かなりのデータの蓄積が得られた。		
社会貢献	0.10	当科関連病院において医学講演会を行い、琉球大学医学部附属病院第二外科における診療体制の紹介することにてって、より有意義な連携を図る。	0.10	関連病院からの専門性の必要な診療（呼吸器疾患、おもに肺癌）の応援要請に対し、手術応援を中心に地域、社会貢献を行えた。		
管理運営	0.25	初期臨床研修センター、専門研修センターの各委員として活動するとともに第二外科の医局長として医局長会議に参加。また当科医局員の人事調整や、関連病院との連携に関する連絡・調整を行う。	0.20	初期臨床研究センター、専門研修センターの各委員として活動すると友に第二外科の医局長として医局長会議に参加。また当科医局員の人事調整や、関連病院との連携に関する連絡・調整を行った。		
進路指導	0.10	臨床実習生(M5,M6)および、初期研修生の希望や適正を把握、進路について適切なアドバイスを行う。	0.10	臨床実習生（M5,M6）および、初期研修生の希望や適正を把握、進路について適切なアドバイスを行った。		
	0.00		0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。		

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）						
名　前	照屋孝夫		所　属	医学部附属病院　第2外科	職　名	助教
領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果		
教育	0.30	M5/M6/研修医に対し，症例をとおして呼吸器外科領域の診療を指導している．研修医には医療行為を経験させることで実地医療を指導し，学生にはレポート作成を行ってもらうことで教育的指導を行う．	0.20	症例をとおして呼吸器外科領域の診療を指導しているが、充分な時間をかけられているか疑問である。M5/M6/研修医に対しミニ講義を行っている。M3に臨床講義を行った。		
研究	0.20	呼吸器外科に関する臨床症例検討を行い，全国学会での発表（2回/年），論文作成（1編/年）を目標とする．	0.15	日本呼吸器外科学会総会、胸部外科学会地方会、沖縄県医師会総会、日本肺癌学会総会での発表を指導した。論文作成を指導している。		
社会貢献	0.20	検診の読影を行っており，肺癌等の早期発見を目指す．次世代の呼吸器外科医を育成していくこと．沖縄県がん地域連携クリティカルパスの普及に努める．	0.15	検診の胸部X線写真の読影を行っている。沖縄県がん地域連携クリティカルパス肺がん部門での統括にあたった。県の呼吸器のがん検診分科会に出席。		
管理運営	0.15	患者さんに最良の治療（診断のための検査/治療方針の決定/手術）を提供できるよう包括医療もふまえ最善をつくす．手術件数を前年度よりも増やす．OSCEの指導、審査。救急部運営協議会・材料部運営協議会・医薬品安全管理専門委員会の委員	0.40	呼吸器カンファレンス等に積極的に参加し、個々の症例に対し最良の治療を提供するよう努めた。紹介元への返書を徹底した。運営会議等に出席した。全国学会・セミナーに参加し最新の知見を得るよう努めた。手術件数を増やした。		
進路指導	0.15	医局のチューターとして指導する。後期臨床研修進路説明会で医局の紹介を行う。親身になり、個々に応じた助言をする。楽な方ではなく、やりがいのある方へ．	0.10	個々にあった進路の助言を行った。		
	0.00		0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。		

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	前田　達也	所　属	胸部心臓血管外科学	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	大動脈瘤疾患に対するアプローチ方法（診断、治療、フォローアップ）について医学部学生および臨床研修医に十分に周知できるように、外来見学、ベッドサイドレクチャー、手術見学などを積極的に行っていく。	0.40	医学部学生（臨床実習生）に対して、受け持ち患者を1例ずつあたえ、その疾患についての理解を深めるとともに、その周術期管理およびフォロー方法について学習してもらった。また、文献検索方法や疾患についてのレポート指導を行った。
研究	0.20	胸部・胸腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術における術中MEP検査の意義及び有効性についての研究を行う。	0.10	胸部・胸腹部大動脈瘤に対する標準的治療(人工血管置換術）およびステントグラフト治療におけるMEP変化を比較し、対麻痺発症予防に対するMEPの有用性についての研究を行った。
社会貢献	0.30	沖縄県内おいて、大動脈瘤疾患に対するステントグラフト治療の周知および普及に努める。	0.20	地域への講演などを通して大動脈瘤疾患に対する、ステントグラフト治療の周知に努めた。また、関連病院におけるステントグラフト治療にも協力できる体制を作っている。
管理運営	0.10	大動脈瘤疾患に対する診断ならびに手術治療を行う。定期手術に加えて、緊急手術にも対応できるような態勢を整える。また、退院後の定期外来管理を行う。	0.20	臨床を通じて診断、治療、フォローアップに努めた。
進路指導	0.10	臨床研修医や医学部学生に対して、胸部心臓血管外科の特徴を伝え、地域に貢献できるような医師の育成に努める。	0.10	専門性の高い分野であるが、興味のある学生に対して、進路相談にのり、勧誘を行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）						
名　前	渡邉　孝		所　属	脳神経外科学	職　名	講師
領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果		
教育	0.20	脳神経外科学、救急医学の担当分野における臨床講義を行う。 臨床実習における講義では、卒後の実践に役立つ知識の習得を目標とする。また、シミュレーションセンターでの実習を通じて、脳神経外科における基本手技についての指導を行う。	0.10	脳神経外科学、救急医学の担当分野における臨床講義は完了した。 臨床実習においては、ミニレクチャーで卒後の実践役立つ内容の講義を行った。また、実際の臨床と手術を通じて、臨床医になるために必要な知識について指導した。		
研究	0.20	神経膠芽腫に対するグルタミン酸受容体拮抗薬を用いた新たな治療法の解明、髄膜腫におけるグルタミン酸受容体の発現につき研究結果を報告する。臨床研究では、術中蛍光診断の有用性、	0.20	神経膠芽腫に対するグルタミン酸受容体拮抗薬を用いた新たな治療法に関しては、Journal of Neurosurgeryに発表した。髄膜腫におけるグルタミン酸受容体の発現については、研究を継続中である。臨床研究では、術中蛍光診断の有用性について検討を行っている。		
社会貢献	0.10	市民講座を通じて、脳卒中に対する予防活動を行う。 また、講習会を通じて、若手医師に対する指導を行う	0.10	講習会を通じて、若手医師に対する指導を行っている。		
管理運営	0.10	院内安全対策管理委員会、リスクマネージメント会議、手術部運営委員、救急部運営委員として活動を行う。	0.10	院内安全対策管理委員会、リスクマネージメント会議、手術部運営委員、救急部運営委員として活動を行っている。		
進路指導	0.10	臨床実習を通じて、進路相談、進路指導を行っていく	0.10	臨床実習を通じて、進路相談、進路指導を行っている		
臨床業務	0.30	安全性が高く、質の高い治療を行うことを第一目標とする。 病棟業務は、 病棟医長として、病棟運営が円滑に行るよう配慮する。	0.40	年間50例の手術を担当し、週3回の外来診療及び病棟業務を行っており、安全性が高く、質の高い治療を実践している。		
	1.00		1.00			

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	宮城　智央	所　属	脳神経外科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.05	臨床実習前の学生に対して、担当の講義をこれまでどおり継続して行う。 2週間毎に臨床実習を受ける学生に担当範囲のレクチャーを継続して行い、また、医師国家試験についても継続して助言を行っていく。	0.05	臨床実習前の学生に対して、担当患者について説明した。2週間毎に臨床実習を受ける学生に担当範囲の頭部外傷のレクチャーを継続して行った。医師国家試験について助言を行った。
研究	0.10	主に脳腫瘍(髄膜腫)のアミノ酸代謝物やMRIの分析を行っているが、CTやMRIの術前画像分析なども研究を深め、これまで同様に県内外での学会発表を継続し、論文も発表を行っていく。	0.10	以下の学会発表をした。第71回日本脳神経外科学会学術総会：「WHO grade I-IIIの髄膜腫にてグルタミンとグルタミン酸に関する染色強度、MRS、髄膜腫組織型との相関関係」。第3回国際放射線神経生物学会大会：「髄膜腫におけるグルタミンとグルタミン酸についての病理とMRS」
社会貢献	0.05	これまで通り、南部徳州会病院、大浜第一病院での外来を主に継続して行い、地域病院を支援してく。	0.05	定期的に南部徳州会病院、大浜第一病院の外来を行い、地域病院を支援した。
管理運営	0.05	感染対策実務者会議などこれまで同様に継続していく。その他、各種会議について代理出席にて補助していく。	0.05	感染対策実務者会議にての資料を医局にて配布していった。
進路指導	0.05	1～2週間毎に臨床実習を受ける学生に対して、毎回、脳神経外科学会のパンフレットをこれまで同様に配布し説明する。研修会説明会をこれまで同様に開催する。	0.05	脳神経外科研修説明会に出席し、訪問した学生や研修医に脳外科一般についてや琉球大学脳外科などについて説明した。
臨床診療	0.70	日々の入院、手術、外来、当直、救急の業務を怠りなく、より安全で確実に継続して行っていく。病院運営改善案について提出要請があれば、これまで通り対策案を提議していく。	0.70	日々の入院、手術、外来、当直、救急の業務を安全に行い、医療過誤なく業務をなしえた。
計	1.00		1.00	

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	三好晋爾	所　属	琉球大学医学部付属病院整形外科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	教育主任としてポリクリだけでなく、臨床講義などにも力を入れていきたい	0.20	ポリクリはいままでどうり、出来たと思うが講義の内容をもっと学生に興味がわくように作成したい
研究	0.20	臨床研究では今年度3回の学会発表、2編の論文も作成が目標	0.20	臨床研究では今年度3回の学会発表も実現でき、2編の論文も作成できたが、発表5回、論文3篇以上を目標に行いたい
社会貢献	0.10	臨床の仕事を通じて社会貢献を継続したい	0.10	臨床の仕事を通じて社会貢献を継続したい
管理運営	0.10	当医局の医局運営や病院助教として病院全板の管理運営に役に立てるようになりたい	0.10	当医局の医局運営や病院助教として病院全板の管理運営に、関わっりほぼ出席すべき会議には出席出来た
進路指導	0.20	学生の進路指導を行いたい	0.20	あまりできなかった
診療	0.20	臨床の仕事を通じて社会貢献を継続したい	0.20	手術・外来と例年どうり施行することが出来た。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	山内　貴敬	所　属	附属病院整形外科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	研修医の指導。学生臨床実習の指導。系統講義など	0.20	研修医は手術、病棟回診、症例検討を通じて治療へのアプローチを研修させた。学生は外来診察につかせ診察法や患者さんとの接し方、治療法の考え方を学ばせた。股関節の系統講義を行った
研究	0.30	当院における股関節治療の臨床評価	0.20	当院における寛骨臼回転骨切り術について股関節学会にて発表。
社会貢献	0.00		0.05	骨と関節の日におけるロコモティブシンドロームの講演会
管理運営	0.10	医局および病棟の業務の円滑化	0.10	病棟クリニカルパスの導入
進路指導	0.10	学生および初期研修医の進路指導	0.05	来年度整形外科医局入局予定者４人
診療	0.30	病診連携を充実させ、専門的治療の数および技術を向上させる	0.40	股関節、骨粗鬆症専門外来。最小侵襲人工股関節置換術
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）						
名　前	前原　博樹		所　属	整形外科	職　名	助教
領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果		
教育	0.15	医学生に対する骨軟部腫瘍領域の講義 授業の見直し（学生の意見をとりいれながら）	0.15	M5の講義およびポリクリ講義において、骨軟部腫瘍の講義を行ったが、学生の意見は十分取り入れ改善している段階		
研究	0.15	学会での報告発表、外部資金の獲得、他大学との共同研究、他施設共同研究	0.15	国内、国外において研究結果を報告できた。外部資金の獲得はできなかった。		
社会貢献	0.05	啓蒙活動(医療従事者)、教育講演（一般）	0.10	県外で医療従事者向けに講演を行った。、一般向けには達成できなかった。		
管理運営	0.10	骨軟部腫瘍ミーティングの開催（病理医、放射線科医）、レジメン委員会	0.10	病理医、放射線医を含めたconferenceであるRMTC（Ryuukyuu Musculoskeletal Tumor Conference）を3回/年行った。		
進路指導	0.05	医学部卒業予定者、研修医に対する進路説明会	0.05	医局説明会等を通して、進路についてアドバイスを与えることができた。		
	0.50	診療活動	0.45	通常通りこなせた。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。		

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（1枚目）

名　前	長井　裕	所　属	医学部附属病院　産科婦人科	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.15	・最新のエビデンスを反映した婦人科学系統講義/総合講義の実施 ・学生病院実習での評価をフィードバック ・卒後臨床研修医運営委員会委員 ・大学院生の指導・アドバイス	0.15	・最新のエビデンスを反映した婦人科学系統講義/総合講義の実施：子宮頸癌、子宮体癌、絨毛性疾患に関する系統講義および婦人科悪性腫瘍に対する妊孕能温存治療に関する総合講義を行った。・学生病院実習での評価をフィードバック：病院実習における学生の要望を医局会で検討し改善してきた。
研究	0.25	・国際/国内学会での発表 ・国際誌への投稿 ・婦人科悪性腫瘍に関する臨床研究（GOG Japan, JCOG 婦人科グループ、JGOG等）への参加・実施	0.25	・国際/国内学会での発表：アメリカ臨床腫瘍学会、国際婦人科がん学会での発表を行った。　国内全国学会で、ワークショップ1回、ランチョンセミナー 1回、最優秀演題口演1回、その他ポスター発表1回を行った。・関連学会誌への投稿：国際誌への掲載がなされた。・多施設共同　研究への継続参加：当科の実務担当である。積極的に他施設共同研究に参加してきた（JCOG,　JGOG,米国GOG）。
社会貢献	0.10	・日本婦人科腫瘍学会評議委員　・婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG）教育委員会委員　・Gynecologic Oncology Group Japan（GOG Japan）委員会委員　・沖縄県婦人科悪性腫瘍登録事務局長 ・沖縄県がん診療連携協議会・普及啓発部会長　・りゅうきゅう臨床研究ネットワーク・がん臨床研究部会委員	0.10	左記の委員活動を積極的に行ってきた。・沖縄県婦人科悪性腫瘍登録事務局活動に関して：沖縄県内の婦人科悪性腫瘍患者の登録作業を行い沖縄産科婦人科学会誌に掲載、報告した。 ・沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会 部会長としての活動に関して：2隔月部会を開催し、ラジオ番組への参加企画、公開講座等を行った。・臨床研究部会では、ワークショップを定期的に行い臨床研究教育を行ってきた。本年度から沖縄県産婦人科医会がん部会理事として活動を開始した。
管理運営	0.15	・産婦人科医局長業務 ・医学部附属病院がんセンター「化学療法レジメン登録審査管理委員会」委員長	0.15	・医局長業務に関して、可及的速やかに業務を行い医局運営に携わった。 ・レジメン登録ワーキンググループ及びレジメン管理登録委員会を月1回開催し、附属　病院内の化学療法レジメン登録を進めてきた（現在も進行中）。
進路指導	0.10	・医学生・臨床初期研修医に対する医局紹介の窓口および実施	0.10	・医局長として医学生、臨床初期研修医に対して、医局紹介、入局相談を行ってきた。　また、琉球大学医学部附属病院臨床研修進路説明会（2回開催）に、積極的に参加し　医学生、初期臨床研修医に対して産婦人科への進路説明、相談を行った。
診療	0.25	・婦人科診療グループの統括 ・セカンドオピニオン外来対応（婦人科領域）	0.25	・婦人科診療グループの実地臨床の統括、及び臨床研究の指導を行ってきた。　・セカンドオピニオンの対応を必要時おこなった。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	玉城　邦人	所　属	附属病院小児科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	臨床研修医・後期研修医および医学部学生に対し診療業務および小児科領域の診察および検査の手技と結果の解釈、病態の解析、治療法について指導を行う。	0.30	医学部学生への講義、臨床実習学生ならびに研修医への専門領域の診療手技に関して指導を行った。
研究	0.30	関連領域の学会・研究会等に積極的に参加し情報交換を行うとともに新たな知見の集積につとめる。	0.20	沖縄小児科学会への参加、沖縄小児神経懇話会の参加・運営に携わっているが、県外学会・研修会への参加は不十分であった。
社会貢献	0.00		0.00	
管理運営	0.00		0.00	
進路指導	0.00		0.00	
診療	0.40	外来及び病棟における患者診療を通じて自己の診療スキルの向上を	0.50	外来・病棟での診療に携わり、個々の疾患における病態の解析、診療手技の確認、入院医療から在宅医療への連携、家族への指導などを行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）						
名　前	山本雄一		所　属	医学部附属病院　皮膚科	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	皮膚科の系統講義,感染症系、代謝系講義を行う。臨床研修医の指導、修練医の学会発表指導、論文指導を行う。	0.20	学部学生への講義を行った。臨床研究学生に対して臨床を指導した。組織検討会を行い、皮膚病理学を指導し、学会への発表の指導を行った。
研究	0.20	日本皮膚科学会総会への参加、学術論文雑誌への論文投稿	0.20	沖縄県皮膚科勉強会、地方会へ参加した。
社会貢献	0.15	市民公開講座の開催、運営。講師として皮膚疾患の知識の啓蒙を行う。	0.15	沖縄県における「いい皮膚の日」の講演の主催を行い、公開講座を開講した。
管理運営	0.10	がん部会会議への出席、検討。	0.10	がん部会のメンバーとしてスタッフ会議に参加した。
進路指導	0.10	臨床研修学生、初期研修医の進路相談を受ける	0.10	初期臨床研修中の医師に対して、研究終了後の進路について指導した。
診療	0.25	琉球大学医学部附属病院での外来診療、入院診療、手術、術後管理を 行う	0.25	週三回の外来診療を行った。病棟診療、回診を行った。
計	1.00		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	平良清人	所　属	大学院医学研究科・皮膚病態制御学	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	学部学生講義、臨床研修（ポリクリ）学生の指導を行う。	0.20	年数回、学部学生講義を行った臨床研修学生に対して外来、病棟で指導を行った。
研究	0.25	学会雑誌に学術論文を発表する。獲得した科学研究費を活用し、研究成果をまとめる。	0.25	医学論文数編の作製に加わった。公益財団法人 沖縄県医科学研究財団より研究助成をいただいた。
社会貢献	0.05	地域の診療所で皮膚科診療を行う。セミナーを行い皮膚疾患の啓蒙を行う。	0.05	沖縄県在宅褥瘡セミナーを企画し、介護職、ケアマネージャー向けの啓蒙活動を行う予定である。
管理運営	0.20	教室内の研究、医療行為などがスムーズに行くよう、検討会などを行う。	0.20	週2回程度、医局内で入院・外来患者の写真、病理カンファレンスに参加し、討論を行った。皮膚科雑誌のレビューを数編行った。
進路指導	0.05	臨床研修学生、初期研修医の進路相談を受ける。	0.05	臨床研修学生、初期研修学生の進路相談を受け、今年度、来年度の就職などの手助けをした。
医療行為	0.25	琉球大学病院での医療診療（外来診療、手術、入院診療など）	0.25	週２回、琉球大学附属病院で外来診療を行った。入院患者の診療も行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	園崎　哲	所　属	医学部付属病院皮膚科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.15	医学科学生の臨床系統講義による教育。医学科臨床実習生への病棟での教育。研修医への皮膚科学の教育。	0.15	医学科学生へ皮膚科分野の臨床講義を行った．学生の臨床実習での教育，指導を行った．
研究	0.10	第64回日本皮膚科学会西部支部学術大会への参加・発表。沖縄地方会での発表。日本皮膚外科学会・日本皮膚悪性腫瘍学会等への発表。学会雑誌への論文発表。	0.15	第64回日本皮膚科学会西部支部学術大会，沖縄県地方会での発表を行った．
社会貢献	0.10	沖縄県他施設での外来診療・手術。市民公開講座の開催、運営。	0.20	沖縄県の他施設での外来診療にも従事し，手術も施行した。また，市民公開講座の開催にあたって開催者側ととして従事した．
管理運営	0.25	リスクマネージャーとしての管理運営。緩和ケア室連絡会議の管理運営。	0.10	年度中に感染対策委員に異動した．感染対策委員として，院内感染発生状況の報告や病棟での感染対策について立案・施行した．
進路指導	0.10	医学部学生への進路指導。研修医への進路指導。	0.10	医学部学生，研修医に対して，皮膚科領域の診療内容の説明と，進路選択に対して指導を行った．
診療	0.30	大学病院における外来診療や入院患者診療。関連施設での外来診療。	0.30	大学病院における外来診療と，自科・他科入院患者の診療に従事した。関連施設での外来診療にも従事した．
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	宮城拓也	所　属	医学部附属病院　皮膚科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	医学生・初期研修医・後期研修医の自立的な学習へつながる指導	0.10	学生、研修医に対し講義を行い、対話型の教育を行った。
研究	0.25	薬剤アレルギーの疫学研究、乾癬患者の疫学研究	0.25	症例をまとめ学会に報告した。
社会貢献	0.15	悠香®「茶のしずく石鹸」の被害者の診断・助言	0.10	特設外来を設け診断・助言を行い、沖縄の被害状況をアレルギー学会へ報告した。
管理運営	0.10	医学生ポリクリの手配、輸血・外来加療室カンファ	0.05	新しい病棟実習の形式を作成した。定期的に委員会に出席し発言した。
進路指導	0.10	卒後後期研修医の指導	0.10	日常診療の指導のみならず学会発表の指導を行った。
診療	0.20	外来診療、病棟診療	0.40	毎週50人以上の外来患者を診察し、入院患者の診療も行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（1枚目）

名　前	林　健太郎	所　属	医学部附属病院皮膚科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.15	医学部学生への臨床講義。医学科臨床実習生、研修医への指導・教育。	0.15	医学部学生への臨床講義。医学科臨床実習生、研修医への指導・教育。
研究	0.15	沖縄県皮膚科学会・勉強会への参加・発表。日本皮膚科学会・日本皮膚外科学会への参加・発表。学会雑誌への論文発表。	0.15	沖縄県皮膚科学会・勉強会への参加・発表。日本皮膚科学会・日本皮膚外科学会への参加・発表。学会雑誌への論文発表に取り組んでいる。
社会貢献	0.10	各種市民公開講座の開催、運営、講演。沖縄県内他施設での診療。 沖縄県特有の皮膚疾患の診療。	0.10	各種市民公開講座の開催、運営、講演。沖縄県内他施設での診療。 沖縄県特有の皮膚疾患の診療。
管理運営	0.10	がん部会・レジメン委員会等での会議・運営および日常診療への反映。	0.10	がん部会・レジメン委員会等での会議・運営および日常診療への反映。
進路指導	0.10	医学部学生・研修医への進路指導。	0.10	医学部学生・研修医への進路指導。
診療業務	0.40	附属病院における手術・外来診療・入院患者診療。	0.40	附属病院における手術・外来診療・入院患者診療。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	真栄田 裕行	所　属	琉球大学医学部付属病院　耳鼻咽喉・頭頸部外科	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	学部生に対する耳鼻咽喉科一般の系統講義 臨床実習生に対する診察、検査、手術手技等の実技指導 当科所属の大学院生に対する実験、研究指導 医局員に対する総合的指導	0.20	学部生に対する耳鼻咽喉科一般の系統講義を施行した。 臨床実習生に対する診察、検査、手術手技等の実技指導をした。 医局員に対する総合的指導を行った。
研究	0.30	低酸素環境下における癌生物学的特質の変化に関する研究(病理共同)　頭蓋底疾患に対する手術手技の修練 外部資金の獲得 学会発表および学術誌への投稿	0.10	頭頸部腫瘍を中心とする手術手技の修練を行った(学会参加等)。 学会発表および学術誌への投稿を行った。
社会貢献	0.10	看護学校等における講義 耳の日、鼻の日など一般を対象とした講演や相談会	0.10	看護学校等における講義の計画、実施を企画した。 耳の日など一般を対象とした講演や相談会を開催した。 アレルギー性鼻炎の外科的治療に関する一般医師向けの投稿を指導した。
管理運営	0.10	医局長としての医局管理	0.30	医局の管理運営を行った。 ２０１３年度に施行される日本耳鼻咽喉科学会分科会(顔面神経研究会)の開催に向けての準備を施行した。
進路指導	0.10	医局員に対する将来設計相談	0.10	医局員に対する進路、将来設計に対する指導をした。
診療	0.20	頭頸部癌患者に対する集学的治療	0.20	頭頸部腫瘍を中心とした患者に対する手術、化学放射線治療等を施行した。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	酒井寛	所　属	医学部附属病院　眼科	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	眼科臨床に興味が湧くように講義する	0.10	学生が眼科臨床に興味を抱ける講義を行った
研究	0.30	緑内障の病態解明、治療に結びつく研究を行なう	0.30	緑内障原因遺伝子の解明の研究などを行った
社会貢献	0.30	学会、講演での啓蒙活動、教育に努める	0.10	学会、講演などにより啓蒙、教育活動を行った
管理運営	0.20	外来医長として外来診療の向上に努める	0.50	眼科外来医長として外来診療の充実に努めた
進路指導	0.00	進路指導はしない	0.00	進路指導はしなかった
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	中村秀夫	所　属	眼科	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.24	病棟回診とレクチャー、外来診察を利用しての学生教育をおこなう。系統講義での教育を行う。	0.24	毎週木曜日朝の病棟回診を行った。今年度の系統講義、全身病と眼を行った。
研究	0.24	主に網膜硝子体分野の臨床的研究と実験動物を利用した新しい手術法の開発。	0.24	黄斑疾患の研究会の理事として運営に携わった。
社会貢献	0.01	離島からのアクセスのよい出張病院での手術治療をおこなう。	0.01	週1回の那覇市小禄の病院での手術と外来診療を継続して行った。
管理運営	0.25	薬事委員としての活動をい引き続き継続する。	0.25	薬事委員として2か月に1回の委員会に出席した。
進路指導	0.01	卒後臨床研修中や医学生へのガイダンスを行う。	0.01	眼科への勧誘を含め、進路について相談にのった。年2回ほどの医局説明会に参加した。
診療	0.25	網膜硝子体を中心とした眼疾患の診断と治療、手術	0.25	週２日の外来業務と手術を行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	江夏亮	所　属	附属病院、眼科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0,20	眼科外来、眼科病棟、眼科医局にて眼科医師、臨床医師として学生、後進に指導、教育する。	0.20	学生および後進に、よく指導できました
研究	0,20	眼科臨床研究、眼科発表を行う。	0.20	学会発表を行いました
社会貢献	0,10	講演会、地方会の準備をする。	0.10	地方集談会にて発表を行い、参加しました
管理運営	0,10	病院会議、手術場の環境整備、物品管理を行う。	0.10	会議に参加し、環境整備に尽力しました
進路指導	0,10	眼科医、臨床医として進路指導を行う。	0.10	進路指導、アドバイス行いました
診療	0,30	眼科外来診療および眼科手術執刀に従事する。	0.30	眼科外来診療および手術執刀および助手に精力的に従事しました
計	0.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）						
名　前	目取眞興道		所　属	附属病院、眼科	職　名	助教
領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果		
教育	0.20	眼科外来、眼科病棟、眼科医局にて、眼科医師、臨床医師として学生、後進に指導、教育する。	0.20	学生に積極的に声かけし、指導できた。		
研究	0.20	眼科臨床研究、眼科発表を行う。	0.20	新しい手術手技について、地方会で発表できた。		
社会貢献	0.10	口演会、地方会の準備をする。	0.10	口演会、地方会の準備ができた。		
管理運営	0.10	眼科医局長。病院会議、手術場の環境整備、物品購入、物品管理を行う。	0.10	医局の運営、物品の購入等に積極的に関わった。		
進路指導	0.10	眼科医、臨床医として、進路指導を行う。	0.10	学生や研修医に対し、進路の話ができた。		
診療	0.30	眼科手術、特に硝子体手術を多数執刀する。	0.30	多くの手術が執刀できた。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。		

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	與那原理子	所　属	眼科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.15	臨床実習学生への講義・実習内容の改善への取り組みおよびその実施。学生からの意見聴取。病棟・外来スタッフへの情報提供、勉強会の実施。	0.15	病棟・外来・スタッフ・学生講義を行った。
研究	0.20	学会（日本緑内障学会・臨床眼科学会・沖縄県眼科集談会）への発表・参加。学会誌への投稿。	0.20	3回/年の発表の機会を得た
社会貢献	0.10	学外での研究会・勉強会への参加	0.10	多種勉強会に参加し、講習を受けた
管理運営	0.10	委員会・業務への参加（4）	0.10	多種委員会での交流、意見交換が出来た
進路指導	0.05	学生への情報提供	0.05	手術実習の告知などを行えた
診療	0.40	当院・関連病院での外来診療、離島医療への参加	0.40	離島医療へ貢献できた
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	外間宏人	所　属	高次機能医科学講座精神病態医学分野	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	医学部5年次、6年次の臨床実習生に対するオリエンテーションおよび「脳波判読実習」を担当する。最近の脳波に関する研究も示しながら学生の興味を引き出し、脳波についての理解を深める。系統講義では精神症状の概略から脳器質障害、認知症などについて担当する。	0.25	医学部5年次、6年次の臨床実習生に対するオリエンテーションおよび「脳波判読実習」を担当した。最近の脳波に関する研究も示しながら学生の興味を引き出し、脳波についての理解を深めた。系統講義では精神症状の概略から脳器質障害、認知症などについて担当した。
研究	0.25	統合失調症の病態生理に関する研究を実施し、その成果を各種国際学会等にて発表を行う。また学術誌へも投稿発表を行う。院内他科（第3内科）とも連携して大学院生のステロイド誘発性精神障害の危険因子についての研究を指導する。学内外の研究者らとの協力・交流を深める目的で定期的に研究会を開催する（Okinawa Clinical Neuroscience研究会）。	0.25	院内他科（第3内科）とも連携して大学院生によるステロイド誘発性精神障害の危険因子についての研究を指導した。学内外の研究者らとの協力・交流を深める目的で定期的に研究会（Okinawa Clinical Neuroscience研究会）を開催した（計4回）。精神科領域の高度先進医療である光トポグラフィー検査導入にも尽力した。
社会貢献	0.15	地域緩和ケアレベル向上の為の研修会で講師、ファシリテーターを行う。検察、裁判所等からの依頼に応じて犯罪者の精神鑑定を実施したりその結果についての報告を行う（司法精神医学懇話会）。	0.15	地域緩和ケアレベル向上の為の研修会で講師、ファシリテーターを勤めた。検察、裁判所等からの依頼に応じて犯罪者の精神鑑定を実施したりその結果についての報告を行った（於：第55回司法精神医学懇話会）。
管理運営	0.10	附属病院精神科神経科外来医長として外来運営にあたる。附属病院内の保険診療委員会、病院再整備計画（再開発）検討WG、病院情報管理システム導入推進委員会（診療科システム委員）に参加し活動を行う。緩和ケア室連絡会議副室長も兼任している。	0.10	附属病院精神科神経科外来医長として外来運営にあたった。附属病院内の保険診療委員会、病院再整備計画（再開発）検討WG、病院情報管理システム導入推進委員会（診療科システム委員）に参加し活動を行った。緩和ケア室連絡会議副室長も兼任した。当院精神科神経科への高度先進医療光トポグラフィー導入に際し仕様策定委員会長、技術審査委員長を務めた。
進路指導	0.05	医学部学生の進路相談に応じ、精神科に関心がある者には入局勧誘を行う。大学院生に対しても研究面の指導に加え、進路指導も行う。	0.05	医学部学生の進路相談に応じ、精神科に関心がある者には入局勧誘を行う。大学院生に対しても研究面の指導に加え、進路指導も行った。
診療	0.20	精神科神経科外来診療（月平均80人）、病棟診療（月平均3-5人）に従事する。	0.20	教育、研究と他の領域の業務に支障なく概ね目標としていた患者数の診療を行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	中村　明文	所　属	医学部　附属病院	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	医学科4年生への講義。医学科5年生、6年生への臨床実習教育指導。初期研修医、後期研修医への臨床実務指導、教育を行う。スライドを用いながら、少人数で双方向性の授業も行う。	0.20	・・・講義修了後に学生から感想を頂いている。控えめに見る必要があるのだが、授業内容の評価は良好で、学生満足度は高いものと思われる。
研究	0.20	非定型抗精神病薬の臨床反応性と神経伝達受容体遺伝子多型の関連についての研究を進める。気分障害に対して、気質などの各種評価項目を用いながら光療法を行い、その効果や適応となる症例の特長を見出す。日本臨床精神神経薬理学会等で発表を行う。	0.20	・・・臨床研究では一定数の症例数を蓄積しており、日本臨床精神神経学会にて発表した。また、雑誌「臨床精神薬理」において総説を執筆した。なお、研究グループによる一連の研究はDPA研究会にて選考され、大学に対し助成金を得た。
社会貢献	0.05	沖縄県内の精神科病院へ地域医療協力を行うとともに、自治体からの派遣要請に応じて2ヶ月に一度の相談業務に応じる。地域精神医療向上のために県内の研修会などで発表や講演を行う。	0.05	・・・県福祉保健部、国立精神神経センター、総合病院精神医学会などからの各種調査依頼に協力している。地元精神科医向けの研究会などで講演を4回行った。
管理運営	0.10	精神科病棟内での行動制限最小化委員会をはじめとした各種会議に参加し、業務改善等をはかる。病棟収益の改善などに貢献する。	0.10	・・・左記会議や委員会等に参加し、業務改善に努めている。特に今年度は安全性が高まり、病棟内での重大事故はない。
進路指導	0.05	当院や当科の魅力などを伝え、当院への就職希望者を増やす。	0.05	・・・医師会や群星が主催した研修医に対する説明会に積極的にブースを出した。研修医向けの講演会を企画した。
診療	0.40	スタッフと円滑な協力体制を築き、チーム医療を行う。外来診療に関しては患者の適性に合った近医へ逆紹介を進める。入院診療に関しては、入退院を円滑に促進し、病床稼働率の向上と平均在院日数の短縮に貢献する。認知行動療法等の技術を身につけ、治療効果改善や患者満足度の向上に努める。	0.40	・・・医療の安全性は高まっているが、まだ見直す余地はある。診療技術向上のために研修会への参加や医局内で勉強会を定期的に行った。NIRSを用いた先進医療を可能とするための準備を行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	薬師　崇	所　属	医学部附属病院・精神科神経科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	後期研修医、後輩の指導	0.10	後期研修医、後輩の指導を行った
研究	0.30	社会精神医学	0.30	論文を記載中
社会貢献	0.20	自殺予防に関する啓発講演	0.20	自殺予防に関する啓発講演を行った
管理運営	0.10	副医局長業務	0.10	副医局長業務を行った
進路指導	0.10	後輩の指導	0.15	後輩の指導を行った
診療	0.20	現状維持	0.15	現状維持であった
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	高良聖治	所　属	精神科神経科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	研修医指導。学生授業の一部担当。院内での緩和ケア勉強会の看護師向けの教育研修会の講師。	0.20	研修医指導や実習生のクルズスの一部担当。院内での緩和ケア勉強会：看護師向けの講義も行った。
研究	0.20	成人広汎性発達障害患者の調査をまとめた上で学会発表。論文発表。	0.20	「精神科」という雑誌へ寄稿。九州精神神経学会で発表。日本精神科診断学会で発表。沖縄精神神経学会で発表。
社会貢献	0.20	年4回行われるがんセンター主催の沖縄県緩和ケア研修会の講師。	0.20	がんセンター主催の年に4回の緩和ケア研修会の講師を2回担当。
管理運営	0.20	医局長業務を行う。沖縄精神神経学会、沖縄心身医学会、同門会事務局業務など。	0.20	医局長業務を行った。沖縄精神神経学会、沖縄心身医学会、同門会、九州地区11大学合同研修会の事務局業務を行った。
進路指導	0.10	後期研修医の今後の研修先となる病院との情報交換や交渉など。	0.10	後期研修医を含めた医局人事における情報交換や交渉を行った。県庁職員とも宮古病院勤務に関する意見交換も行った。
診療	0.10	新患患者と入院患者の診療、緩和ケア精神科部門紹介患者の診療。	0.10	新患患者と入院患者、緩和ケア精神科部門紹介患者の診療を行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	伊良波　裕子	所　属	附属病院放射線科	職　名	医師/助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	講義；基礎から応用までわかりやすい内容を心がける （学生の理解度を確認しながら次回講義に役立てる） ポリクリ指導； 新しい知識の習得とこれまでの知識の復習を兼ね備えた指導を心がける	0.10	画像診断、IVRに関して基礎的なことを中心に指導した。
研究	0.20	前立腺癌のMRIに関する研究 学会発表から論文執筆、投稿まで	0.20	前立腺MRIに関する研究を学会で発表し、論文執筆・投稿し、学術誌にアクセプトされた。
社会貢献	0.10	適宜学会等への参加	0.10	MRI研究会やIVR研究会などに参加した。
管理運営	0.05	CT,MRI,血管造影検査の実態把握、リスクマネージメントなど	0.05	超音波装置の選定に関わった。
進路指導	0.05	医局の情報開示、専門医取得の方法など	0.05	入試関連業務、OSCEに参加した。放射線科専門医取得に関する情報を提供した。
診療	0.50	読影、血管造影・IVRなどの日常診療業務	0.50	読影、血管造影・IVR業務にを行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	古賀　友三	所　属	大学院医学研究科 放射線診断治療学講座	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	・講義、実習の教育目標の設定 ・放射線医学、診療に興味をもつような講義への改善 ・学生からの積極的な意見の聴取と実習、講義へ意見の反映	0.10	放射線医学、診療に興味をもつような講義、実習を行った。概ね行えた。
研究	0.15	・画像診断（主にCT,MRI)に中心に関連する学会誌への投稿、発表。 ・画像診断（主にCT,MRI)を中心に学会での報告発表。	0.15	IVR関連の発表を行った。
社会貢献	0.05	・最適な画像検査、読影を行い診療の質の向上、また、医療費削減へ貢献。	0.05	最適な画像検査、読影を行った。
管理運営	0.00		0.00	
進路指導	0.05	・進学・就職の相談を受ける。 ・進学・就職の具体例を提示する。	0.05	進学・就職の具体例を提示した。
診療	0.65	・画像検査の撮影指示、読影業務 ・血管造影、IVR	0.65	日々の画像検査の撮影指示、読影業務、血管造影、IVRを行った。概ね行えた。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	千葉　至	所　属	医学部　附属病院　放射線科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	授業およびポリクリ実習の指導	0.10	…予定通り実施できた。
研究	0.10	導入予定のPETで研究可能な新たな分子イメージング薬剤の調査	0.10	…新たな学会基準であるGMPに準拠するためPETセンター開業が遅れたが、GMP準拠施設となれば治験などで新たな分子イメージング薬剤を使用する際、アドバンテージとなる。
社会貢献	0.10	東日本大震災による被ばくに関しての方針決定や診療協力 心臓核医学地域別研修会や沖縄県核医学懇話会にて世話人会に参画	0.10	…被ばくに関しての診療はほとんどなかったが、沖縄県の核医学会の発展に関して教育研修会や講演会の主催などで貢献できた。
管理運営	0.10	RI部門および病院放射線安全管理委員会に参画	0.10	…予定通り実施できた。
進路指導	0.10	ポリクリ学生の進路指導	0.10	…説明会や食事会を開催し、予定通り実施できた。
診療	0.50	RI診療を主とする放射線科検査全般、RI内容療法外来	0.50	…予定通り実施できた。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	宮田　裕史	所　属	麻酔科	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.15	医学部学生の講義に際して、学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行う。ポリクリ実習学生に対し、当科の役割や面白さを伝え実習指導を行なう。	0.15	ポリクリ学生に麻酔の面白さや、学問的意義について指導することができた。また、実際の患者に対する臨床実習も行うことができた。また、離島実習の指導を行った。
研究	0.10	吸入麻酔薬を使用した麻酔管理に関し、他施設（県外）の医師に対し研修会を開催し指導を行なう。学会や研究会等で発表を行う。	0.10	全国学会においてシンポジストとして講演を行った。他府県(東京・横浜）からの麻酔科医に対し実地指導を行った。
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週1回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。	0.10	地域の関連施設にて医療支援および技術の講習を実施した。
管理運営	0.10	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師との協力し、手術室稼動の調整を行う。	0.10	手術室の業務改善において、会議等に参加した。手術数増加に貢献できた。
進路指導	0.10	学生に対し、今後の進路に関する情報を与え指導を行う。	0.10	学生の進路相談に応じることができた。
	0.45	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加のために貢献する。手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。	0.45	手術室の効率的運営により、昨年より手術数の増加を図ることができた。また、安全に手術麻酔を施行し、大きな問題なく施行できた。
計	1.00		1.00	

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	中村　清哉	所　属	附属病院麻酔科	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	医学部学生の講義に際して、学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行う。また、研修医、ローテーターに対し、実際の麻酔管理、ペインクリニック外来の実習監督を行い、指導する。	0.10	医学部学生の講義に際して、学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行う。また、研修医、ローテーターに対し、実際の麻酔管理、ペインクリニック外来の実習監督を行い、指導した。
研究	0.10	ペインクリニック、緩和ケア関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行う。症例報告、原著論文を作成する。	0.10	ペインクリニック、緩和ケア関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行った。
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行った。
管理運営	0.20	スタッフとして医局運営に協力する。	0.20	スタッフとして医局運営に協力し、会議等に出席した。
進路指導	0.00			
	0.50	附属病院手術室に置いて、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。ペインクリニック外来にて疼痛患者の治療を行い、院内緩和ケアチームの活動運営も行う。	0.50	附属病院手術室に置いて、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供した。ペインクリニック外来にて疼痛患者の治療を行い、院内緩和ケアチームの活動運営も行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	安部　真教	所　属	麻酔科	職　名	

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.15	医学部学生、研修医に対し、積極的に実習参加できるよう安全に、丁寧に指導教育する。また、研修医、ローテーターに対し、実際の麻酔管理、ペインクリニック外来の実習監督を行い、指導する。	0.20	医学部学生、研修医に対し、講義、臨床実習を通して全身管理、麻酔管理、ペインクリニックの教育、指導を行った。神経ブロックの説明に骨の模型を用いるなどの工夫を行った。
研究	0.15	ペインクリニック、緩和ケア関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行う。症例報告、原著論文を作成する。癌プロフェッショナル養成プランにのっとり、癌性疼痛緩和に関わる研究を行う。	0.10	ペインクリニック、緩和ケアの症例検討を行い、ペインクリニックに関して学会発表を行った。
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。	0.20	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行った。看護学校、緩和ケア研修会でペインクリニック、緩和ケアに関する講義を行った。
管理運営	0.10	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全・迅速に手術室運営を行う。	0.10	手術室看護師、外科系医師と協力し、安全・迅速に手術室運営を行った。外来看護師、スタッフとも協力して運営を行い、大きな問題は生じなかった。
進路指導	0.00		0.00	
	0.50	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。ペインクリニック外来にて疼痛患者の治療を行い、院内緩和ケアチームの活動運営も行う。	0.40	附属病院手術室において、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療の提供に努めた。ペインクリニック外来において疼みの治療を行い、QOLの改善が多くの患者にみられた。院内緩和ケアチームの活動を行い、癌治療に伴う苦痛の軽減を行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	神里　興太	所　属	医学部　附属病院	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	初期臨床研修医、後期研修医に対し、実際の麻酔管理・集中治療室管理について根拠を示しながら指導する。さらにシミュレータを用い、周術期危機管理教育を行う。	0.15	初期臨床研修医、後期研修医に対し、実際の麻酔管理・集中治療室管理について根拠を示しながら指導した。研修医、看護師が主体的に学べるように教育を行った。
研究	0.30	臨床研究を実施し、新たな知見について学術集会、学術誌等で発表を行う。	0.25	臨床研究を2件（前向き研究１件、後ろ向き研究１件）を行った。後ろ向き研究については日本麻酔科学会学術集会にて発表予定であり、前向き研究については現在、データ集計および論文執筆中である。
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行った。
管理運営	0.10	手術室・集中治療室の効率的運営を行えるように、看護師、外科系医師と協力し、手術室・集中治療室稼働の調整を行う。また、電子麻酔記録システムのマスターメンテナンスを行い、効率的な運用を行えるよう調整する。	0.15	手術室・集中治療室の効率的運営を行えるように、看護師、外科系医師と協力し、手術室・集中治療室稼働の調整を行った。また、電子麻酔記録システムのマスターメンテナンスを行い、安定的かつ効率的な運用を行えるよう調整した。
進路指導	0.00		0.00	
	0.40	附属病院手術室/集中治療室において、麻酔・集中治療業務に専従し、手術数増加・集中治療室の運営のために貢献する。また、手術を受ける患者あるいは集中治療室を利用する患者に対し、安全で高度な医療を提供する。	0.35	手術数増加・集中治療室を他職員とともに運用した。また、手術を受ける患者あるいは集中治療室を利用する患者に対し、安全で高度な医療を提供するべく、最新の知見を取り入れつつ診療を行った。とくに血液浄化療法を中心としたアフェレーシス分野で様々な取り組みを行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	比嘉　達也	所　属	麻酔科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	医学部学生の講義に際して、学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行う。また、研修医、ローテーターに対し、実際の麻酔管理、ペインクリニック外来の実習監督を行い、指導する。	0.20	医学部学生、研修医に対し、講義、臨床実習を通して全身管理、麻酔管理、ペインクリニックの教育、指導を行った。神経ブロックの説明に骨の模型を用いるなどの工夫を行った。
研究	0.10	ペインクリニック、緩和ケア関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行う。症例報告、原著論文を作成する。	0.10	ペインクリニック、緩和ケアの症例検討を行い、ペインクリニックに関して学会発表を行った。
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行った。緩和ケア研修会でペインクリニック、緩和ケアに関する講義を行った。
管理運営	0.10	スタッフとして医局運営に協力する。	0.10	手術室看護師、外科系医師と協力し、安全・迅速に手術室運営を行った。外来看護師、スタッフとも協力して運営を行い、大きな問題は生じなかった。
進路指導	0.00		0.00	
	0.50	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加のために貢献する。手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。ペインクリニック外来にて患者を診療し治療する。	0.50	附属病院手術室において、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療の提供に努めた。ペインクリニック外来において疼みの治療を行い、QOLの改善が多くの患者にみられた。院内緩和ケアチームの活動を行い、癌治療に伴う苦痛の軽減を行った。
計	1.00		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	新垣敬一	所　属	歯口腔外科	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	学部学生の講義を通して口腔外科をより理解してもらう。学生からの積極的な意見とりあげ、講義に反映させる	0.20	学部講義特に口唇口蓋裂の一貫治療について講義を行い、学生の意見から咬合、矯正治療の意義などの具多的な質問が多くあった。
研究	0.20	学会誌への投稿、発表、学会での報告発表	0.30	セイシェルで行われたCleft2012で一般演題、口蓋裂学会および西日本外傷歯学会はシンポジストにて、摂食嚥下学会、口腔外科学会に一般演題で発表した。その内容の一部をそれぞれの学会誌に16編（筆頭4、直接指導12編）掲載
社会貢献	0.10	ラオス国の口唇裂口蓋裂患者の無料手術への参加、沖縄口腔ケアセンターの一員として口腔ケアの観点から地域への貢献	0.00	実現できず。
管理運営	0.10	所属部局における委員会での具体的貢献	0.10	口腔ケア勉強会の代表にて沖縄協同病院に口腔ケア・摂食嚥下 依頼講演
進路指導	0.20	大学院生の指導のための具体的取組	0.20	大学院直接指導　2名　修了予定
臨床	0.20	口唇口蓋裂、口腔がん、顎変形症に対する治療の充実	0.20	口唇口蓋裂の直接の責任者として管理を行い、手術教育を行った。顎変形症の治療においても同様に手術管理をおこなった。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	天願俊泉	所　属	歯科口腔外科	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	・担当学部への講義ならびにポリクリ学生への臨床見学および講義の実施。・研究業績の反映ならびに専門領域における学生からの質問および相談を受ける。	0.10	・左記を実施することに加え、学部定期試験監督者を実行している。
研究	0.20	・日本顎変形症学会、日本口蓋裂学会に報告発表や学会雑誌への投稿発表を行い、他大学との共同研究を行っている。・国際口蓋裂学会発表の共同演者となっている	0.20	・日本顎変形症学会への論文投稿準備を行いつつ、日本口蓋裂学会への論文投稿へは協同著者として協力した。・北海道大学歯学部口腔外科との共同研究の補佐援助を行った。
社会貢献	0.20	・沖縄県離島（宮古島、石垣島）における専門分野における医療活動を介して地域貢献を果たす。・沖縄衛生士学校における講義を実施している・当科が校医となっている琉球大学附属小中学校ならびに興南中高高校における学校検診および金武町健診を実施する	0.20	・沖縄県離島（宮古島、石垣島）における専門分野における医療活動を介して地域貢献を果たす。・沖縄衛生士学校における講義を実施している・当科が校医となっている琉球大学附属小中学校ならびに興南中高高校における学校検診および金武町健診を実施してきた。
管理運営	0.10	・沖縄県離島（宮古島、石垣島）における専門分野における医療活動を介して地域貢献を果たす。・沖縄衛生士学校における講義を実施している・当科が校医となっている琉球大学附属小中学校ならびに興南中高高校における学校検診および金武町健診を実施する	0.10	・沖縄県離島（宮古島、石垣島）における専門分野における医療活動を介して地域貢献を果たす。・沖縄衛生士学校における講義を実施している・当科が校医となっている琉球大学附属小中学校ならびに興南中高高校における学校検診および金武町健診を実施してきた。
進路指導	0.15	・医局員や県内歯科医師などへ、歯科臨床上の矯正学的考察を示唆し、アドバイスを送る	0.15	・医局員や県内歯科医師などへ、歯科臨床上の矯正学的考察を示唆し、アドバイスを送ることを実施してきた。
診療	0.25	・口唇口蓋裂患者の歯科矯正治療・顎変形症患者の歯科矯正治療の実施。・保険適応の42症候群患者の歯科矯正治療	0.25	・今回、日本矯正歯科学会よりアンケート調査が有り、その結果、口唇口蓋裂患者の新患数は16例、現在診ている患者数は96例であった。また、症候群を有する新患数は5例、現在診ている患者数は15例であった。・顎変形症患者の顎矯正手術実施数は22例であった。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

	仁村文和	所　属	歯科口腔外科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	医学部学生に対して口腔外科領域の講義および手術を通じて口腔領域の解剖等の講義を行う。特に講義においては、腫瘍、および摂食、嚥下について講義を行う。研修医に関して、診療や学会を通じて口腔外科に必要な知識を確認を行う。	0.20	医学部学生に対して口腔外科領域の講義および手術を通じて口腔領域の解剖等の講義を行った。特に講義においては、口腔腫瘍、および摂食、嚥下障害について理解を深めてもらい講義を行った。
研究	0.30	口腔癌の頸部リンパ節転移に対する動注化学放射線療法後の治療効果について研究。また、口腔癌術後の摂食・嚥下機能評価について研究を行う。	0.30	特に口腔癌について学会、発表（日本口腔腫瘍学会で発表）を行った。また論文（日本口腔外科学会雑誌に投稿）を行った。
社会貢献	0.20	口腔外科での知識を開業歯科医院に診療や勉強会で共有する。口腔健診を通じて口腔癌の早期発見に貢献する。	0.20	沖縄県歯科衛生士学校で講演を行った。また口腔検診を行うことで早期の口腔癌発見についても行ってきた。
管理運営	0.10	口腔癌の臨床統計。	0.10	口腔癌の臨床統計をまとめ、学会で発表を行った。
進路指導	0.20	研修医に対して、今後の進路指導について指導を行う。	0.20	研修医に対して、カンファレンス、臨床を通して基本的考え方、診断の重要さを教えた。また今後の進路指導について指導を行う。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（1枚目）

名　前	仲宗根　敏幸	所　属	顎顔面口腔機能再建学分野	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.15	・沖縄県における口腔外科の重要性および必要性を認識できる。（学生・ポリクリ学生） （アンケートにて半数以上が口腔外科が必要であると認識する。） ・歯科医師臨床研修医への基礎講義および実技指導。 （研修医に知識の向上、技術upを自己評価してもらう。） ・研究経過報告会を開催。（研究に対し興味が持てるか評価してもらう。ポリクリ学生・研修医） ・学生からの積極的な意見の聴取	0.15	・沖縄県における口腔外科の重要性および必要性をポリクリ学生、研修医および歯科衛生士に伝えた。 ・歯科医師臨床研修医、歯科衛生士への基礎講義および実技指導を臨床の場において行った。 ・研究経過に関して、日ごろの臨床実習を通し、ポリクリ学生・研修医へ説明、指導を行った。 ・臨床実習を通し、一日の各症例に対するディスカッションを教官を含め行った。
研究	0.15	・学会誌への投稿、発表 ・学会での報告発表 ・外部資金の獲得 ・口腔癌における予後不良症例に対する検討	0.10	・学会誌への投稿は行っていない。 ・学会での報告発表を1回行った。 ・外部資金の獲得のための基礎研究を開始した。 ・口腔癌における予後不良症例に対する基礎の開始。
社会貢献	0.10	・外国留学生に対する教育および研究指導。 ・JICA草の根支援事業（ラオス国児童に対する歯磨き指導による口腔内清掃状態改善事業フェーズⅡ）案件申請。（ラオス歯科医師への技術指導。予防歯科指導）	0.25	・外国留学生に対する教育および研究指導に関しては、毎週水曜日グループディスカッションを行っている。 ・JICA草の根支援事業（ラオス国児童に対する歯磨き指導による口腔内清掃状態改善事業フェーズⅡ）案件が採択され、9月15日から草の根事業を開始し、プロジェクトマネージャとして今年度4回、ラオスへ短期・長期派遣を合わせて行った。
管理運営	0.15	・助教として外来・医局管理運営をスムーズに行える。	0.10	・助教および外来医長として外来・医局管理運営をスムーズに行えた。
進路指導	0.05	将来の展望をアンケートにて調査。その結果に基ずく進路相談。	0.05	将来の展望をアンケートにて調査。その結果に基ずき、各研修医の先生方に進路相談を行った。
診療	0.40	外来・病棟診療および手術。	0.35	外来（月・火・木・金）・病棟診療（水）および手術を積極的に行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	久田　友治	所　属	附属病院手術部	職　名	副部長・准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	手術部実習（M5・通年）：手術時手洗い、標準予防策(静脈針留置、針刺し対策を含む)、縫合を始めとした実習を行う。なお、今年度から実習の半分をおきなわシミュレーションセンターで実施する。呼吸器・胸壁・縦隔（M3)の講義。委託された外部の臨床工学科の学生実習を行なう。	0.15	24年度はｶﾘｷｭﾗﾑ改訂により手術部実習がなくなった。代わりに講義を実施したが、来年度は手術部実習が復活することになっている。呼吸器・胸壁・縦隔（M3)の講義と委託された外部の臨床工学科の学生実習を行なった。また、目標として設定していなかったが、手術部看護師の研究そして学会報告を支援した。
研究	0.25	学会報告：「無影灯の不具合と事故に関する検討」（日本医療機器学会）、「手術器材の遺残関連インシデントの要因と対策」（日本外科学会）。論文の投稿：「手術部の効率」、「手術時手洗いラビング法」、「手術における異物遺残の検討」。第34回日本手術医学会プログラム委員。基礎看護学教室との共同研究を継続する。	0.35	著書:「手術室管理,.外科学温故知新」、論文：「内視鏡外科手術に用いる医療機器の故障への対応と課題」、「プリオン病ハイリスク手技に使用した器材の取り扱いについて.」、「国立大学附属病院における医師・歯科医師GRMの業務・役割の現状」。.基礎看護学教室との共同研究でﾗｵｽへ感染対策ﾈｯﾄﾜｰｸの支援に赴いた。
社会貢献	0.05	沖縄県の医療安全推進協議会委員として、県内における医療安全の情報共有を進める。	0.05	沖縄県の医療安全推進協議会委員として、また、県医師会の医療安全対策委員会の委員として、県内における医療安全の情報共有を進めた。沖縄地域医療支援センターの”ゆいまーるプロジェクト”からの依頼で北大東診療所での代診を務めた。
管理運営	0.45	手術部管理：安全で円滑な手術部運営に努め、特に効率化を進める。また今年度は特に災害時の対策を進める。感染対策室：手術部位感染サーベイランスを行う。安全管理対策室における分析担当者としての役割を果たす。	0.45	手術部管理：安全で円滑な手術部運営に努め、特に効率化を進め、今年度は特に災害時の対策を進めた。感染対策室では室員として、また安全管理対策室では分析担当者として役割を果たした。
進路指導	0.00		0.00	
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	西　啓亨	所　属	手術部	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	医学部学生、初期臨床研修医、後期研修医に対し、実際の麻酔管理についてエビデンスを示しながら指導する。卒後臨床研修のプログラム作成にも関わる。また、看護学校での講義を通して、麻酔に関する啓蒙活動を行う。	0.20	・・・卒後臨床研修センター委員として、臨床研修プログラム作成業務に携わり、初期臨床研修全体のマネイジメントを行った。初期研修医・学生に挿管手技などのシュミレーション教育を行った。看護学校での講義を行い、麻酔に関する啓蒙活動を行った。
研究	0.20	筋弛緩薬・周術期モニターなど麻酔関連の臨床研究を計画・実施する。また、学術集会、学術誌等で発表を行う。	0.10	・・・筋弛緩薬の薬物力学について、臨床面から研究を継続し、学会発表・学術誌に投稿を行った。基礎研究として、肺胞上皮細胞におけるシグナル伝達の研究を行っている。
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。	0.10	・・・地域の関連病院にて臨床支援を行い、併せて大学病院で得られた新しい知見を関連施設の医師および看護師に対し還元した。また看護学校にて講義を行った。
管理運営	0.20	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全・迅速に手術室運営を行う。	0.20	・・・手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室の効率的かつ安全な運営に努め、ほぼ目標近く達成された。
進路指導	0.10	卒後臨床研修センター委員として、初期研修医の研修プログラムに関する指導、初期研修後の進路相談を行う。	0.10	・・・初期研修医に対して、研修・進路に関する助言を行い、ほぼ目標近く達成された。
臨床	0.20	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、安全に周術期管理を	0.30	・・・・・・麻酔・集中治療業務に従事し、安全に周術期管理を行い、ほぼ目標近く達成された。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	大城　匡勝	所　属		職　名	

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.15	学生および初期臨床研修医、後期研修医に対し、実際の麻酔管理について根拠を示しながら、シミュレータを活用し指導する。	0.15	学生および初期臨床研修医、後期研修医に対し、実際の麻酔管理について根拠を示しながら、シミュレータを活用し指導した。
研究	0.15	動物実験また臨床で得られた新たな知見をもとに学術集会、学術誌等で発表を行い、論文作成をする。	0.15	動物実験また臨床で得られた新たな知見をもとに学術集会、学術誌等で発表を行った。
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行った。
管理運営	0.25	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行う。	0.25	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行った。
進路指導	0.10	後期研修医・大学院生に対して必要な各種専門医および学位の取得が円滑に行えるようカリキュラム編成および指導を行なう。	0.10	後期研修医・大学院生に対して必要な各種専門医および学位の取得が円滑に行えるようカリキュラム編成および指導を行った。
	0.25	附属病院手術室に置いて、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。	0.25	附属病院手術室に置いて、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供した。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	野口　信弘	所　属	麻酔科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行う。ポリクリ実習学生に対し、当科の役割や面白さを伝え実習指導を行なう。消防学校での講義を通し救急救命士の育成に貢献する。	0.20	学生の講義は、スライド作成に工夫を行い興味が持てる様に行った。ポリクリ実習、臨床研修に際しては、実際に参加させ実習、研修に興味を持たせるように行った。また消防学校での講義を行った。
研究	0.20	臨床研究および基礎研究を通して、医学・医療の発展に貢献できる結果を学会および論文として公表する。	0.20	基礎研究の成果を学術誌へ投稿した。
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週1回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。	0.10	地域の関連施設での麻酔指導及び教育を行った。
管理運営	0.20	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼動の調整を行う。	0.20	週間手術予定の作成を行い手術室看護師や外科系医師との調整を行い効率的な手術室運営を行うことができた。
進路指導	0.10	学生および研修医に対し、今後の進路に関する情報を与え指導を行	0.10	前年度の研修医指導医セミナーでの知識を生かし学生、研修医への指導を行った。
診療	0.20	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加のために貢献する。手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。	0.20	手術室の効率的運営により、昨年より手術数の増加を図ることができた。また、安全に手術麻酔を施行し、大きな問題なく施行できた。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（1枚目）

名　前	武村　克哉	所　属	医学部附属病院地域医療部	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	・卒前地域医療／プライマリ・ケア教育に関する講義の計画・実施 ・医学科4年次医療面接講義・実習の計画・実施 ・医学科5年次地域医療実習の計画・実施、実習施設の追加 ・模擬患者参加型医療面接セミナーの開催 ・研修医に対するプライマリ・ケア教育の実施 ・臨床研修指導医に対する講習の計画・実施	0.20	・・・プライマリ・ケア／地域医療教育に関する授業の計画・実施、地域の医療機関における学生実習の調整、実習施設を2施設追加、臨床実習開始前の医療面接実習の実施、新規模擬患者の育成、模擬患者参加型医療面接セミナーの開催、研修医への共通研修レクチャー実施、臨床研修指導医養成セミナーでの講習を実施した。
研究	0.10	・地域医療と地域枠学生の教育に関する研究 ・医学教育にヘルス・プロモーションを導入するための現状とニーズ調査（共同研究）の発表、論文投稿 ・臨床研修指導医養成セミナーの評価に関する論文投稿	0.10	・・地域医療教育に関する研究について、「離島地域病院実習による医学生の意識の経年的変化」を第44回日本医学教育学会にて発表した。ロンドン大学衛生熱帯医学大学院武田裕子先生との共同研究「医学教育にヘルス・プロモーションを導入するための現状とニーズ調査」を実施し、第35回米国総合内科学会年次総会にて「Learning outcomes described in medical education competency-based framework to prepare students to take initiative roles for health promotion」を共著発表した（発表者武田）。臨床研修指導医養成セミナーの評価に関する論文は進行中である。
社会貢献	0.10	・沖縄プライマリ・ケア研究会の幹事を担当 ・公立久米島病院への定期的な診療応援 ・多施設プライマリ・ケアwebカンファレンスへの参加、症例提示担当 ・地域医療部40周年記念シンポジウム・講演会の開催、同記念誌の発行	0.10	・・・沖縄プライマリ・ケア研究会の幹事を担当した。公立久米島病院への定期的な診療応援を継続した。Web会議システムを利用したプライマリ・ケアレクチャーシリーズ（PCLS）に参加し、レクチャーを担当した。平成24年4月に地域医療部40周年記念シンポジウムを開催、同記念誌は準備中である。
管理運営	0.30	・琉球大学医学部附属病院卒後臨床研修センター員として、研修プログラムの立案、地域医療研修の調整、指導医養成セミナーへの支援 ・琉球大学医学部附属病院専門研修センター員として、プライマリ・ケア専門研修プログラムの作成 ・琉球大学医学部医学教育企画室員として、外来患者付添い体験実習の支援、地域医療教育カリキュラムの作成、離島地域病院実習に対する支援 ・琉球大学医学部医学科教育連絡主任 ・共用試験医学系OSCE「医療面接」を担当 ・総合診療センター運営協議会　委員 ・リスクマネージャー連絡会議　委員 ・琉球大学医学部附属病院クリニカル・シミュレーションセンター事業推進委員会委員 ・ハワイ沖縄医学教育フェローシップ実行委員	0.30	・・・琉球大学医学部附属病院卒後臨床研修センター員として、研修プログラム・地域医療研修の調整、指導医養成セミナーにてタスクフォースを担当した。同専門研修センター員として、プライマリケア専門研修プログラムの作成を行った。琉球大学医学部医学教育企画室員として、外来患者付添い体験実習の支援、地域医療を学ぶためのPBLの企画・実施、離島地域病院実習において久米島病院実習担当、地域医療を学ぶための学生セミナーを企画した。琉球大学医学部医学科教育連絡主任、総合診療センター運営協議会委員、リスクマネージャー連絡会議委員、琉球大学医学部附属病院クリニカル・シミュレーションセンター事業推進委員会委員として会議に参加した。病院再整備外来部門、教育・研究部門のワーキンググループ員を担当した。共用試験医学系OSCE「医療面接」の責任者を担当し、標準模擬患者を新たに育成した。ハワイ沖縄医学教育フェローシップの実施調整を行った。
進路指導	0.10	・地域枠学生や地域医療に関心のある学生の支援	0.10	・・・地域枠学生や地域医療に関心のある学生に不定期にアドバイスを行い、離島病院・診療所実習の調整を行った。
診療	0.20	・総合診療センター外来における外来診療 ・禁煙外来	0.20	・総合診療センター外来における外来診療、禁煙外来を行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	飯田　行	所　属	附属病院 放射線部	職　名	医師/助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	学生授業の改善	0.10	授業担当範囲の拡大に伴い，従来の内容も改訂した.
研究	0.10	新規PETセンターにて行う研究の事前リサーチ	0.10	開業準備に忙しくて，研究準備は十分ではない
社会貢献	0.10	新規PETセンター開業に向けての準備	0.10	鋭意，進行中.
管理運営	0.10	新規PETセンターの管理運営/放射線取扱主任者資格取得	0.10	放射線科取扱主任者資格取得に向けて勉強中.
進路指導	0.10	後期研修医の指導	0.10	専門範囲においては十分だと思われる.
	0.50	病院診療	0.50	従来通り，特に変化なし.
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	渕上　竜也	所　属	医学部附属病院	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	M5, M6学生に集中治療室において実際の集中治療管理を見学させ、集中治療の基本を理解してもらう。医学部学生の講義に際して、学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行う。また、後期研修医に対する教育も行う。後期研修医と供に症例の集中治療を担当し、集中治療領域での理論、手技を理解させる。学会発表、論文作成の指導をする。	0.25	M5, M6学生に集中治療室において実際の集中治療管理を見学させ、集中治療の基本を教育した。医学部学生の講義に際して、学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行った。卒後および後期研修医に対する教育も行った。後期研修医とともに症例の集中治療を担当し、集中治療領域での理論、手技を理解させる。学会発表、論文作成の指導をした。
研究	0.15	麻酔に関する臨床研究に加えて、集中治療医学に関する症例報告、臨床研究を行い、学会発表、論文作成を行う。	0.15	麻酔・集中治療医学に関する症例報告、臨床研究を行い、学会発表、論文作成を行った。関連学会でシンポジストを務めた。
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。特に新型インフルエンザや災害医療など医療需要の変化に対応し、医療安全と質を堅持する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。特に新型インフルエンザや災害医療など医療需要の変化に対応し、医療安全と質を堅持する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。
管理運営	0.15	集中治療室において重症患者の診療を行ない、看護師・他科医師とともに円滑な病棟運営に貢献する。電子カルテの手術室・集中治療室部門のカスタマイズを必要に応じて行う。病院再開発計画WGに参加し当院ICUおよびその他の重症患者収容病棟の今後について提言する。	0.15	集中治療室において重症患者の診療を行ない、看護師・他科医師とともに円滑に病棟運営を行った。電子カルテの手術室・集中治療室部門のカスタマイズを必要に応じて行った。病院再開発計画WGに参加し当院ICUおよびその他の重症患者収容病棟の今後について提言した。停電対策など危機管理対策を行った。
進路指導	0.10	集中治療医学会認定施設更新年度に伴いこれを円滑に更新する。集中治療専門医研修施設として初期研修医や後期研修医、学生に対し集中治療領域の知識・技術、専門性の啓蒙のみならず専門医の育成のため全国各地の研修施設の情報も提供する。	0.05	集中治療医学会認定施設更新年度に伴いこれを円滑に更新した。集中治療専門医研修施設として初期研修医や後期研修医、学生に対し集中治療領域の知識・技術、専門性の啓蒙のみならず専門医の育成のため全国各地の研修施設の情報も提供した。
診療	0.30	附属病院集中治療室に置いて、業務に専従し、重症患者の治療に貢献する。特に今年度2床増床にともなう業務環境の変化に対応し、医療安全と質を堅持する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。	0.30	附属病院集中治療室に置いて、診療業務に専従し、重症患者の治療に貢献した。特に昨年度2床増床にともなう業務環境の変化に対応し、医療安全と質を堅持できた。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供した。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）						
名　前	山城　剛		所　属	琉球大学医学部付属病院輸血部	職　名	講師
領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定		業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果	
教育	0.10	琉球大学医学部学生、研修医に対して、血液製剤の適正使用に関する知識と副作用の知識、対処法に関して教育を行う. 日本肝臓病学会指導医として学生、研修医に対して、肝臓病に関する講義を行う。研修医、学生に腹部超音波検査の指導を行う.		0.20	・・・前半は血液製剤の適正使用に関する少人数制のレクチャーを医学部学生に対して行い、後半は輸血学の個人講義を行った。肝臓病学の講義をM4学生に行った。腹部超音波について研修医、学生に対して週に1回、現場で指導、講義を行った。	
研究	0.05	マイクロアレイ、モデルマウスを用いた非アルコール性脂肪性肝炎の病態解明		0.05	・・・論文作成中。	
社会貢献	0.20	日本肝臓学会専門医、指導医として沖縄中部地域の肝臓病患者の診療にあたる。消化管内視鏡検査は消化器癌の早期発見、また早期治療に重要な役割を持つ検査であるが、沖縄県において、需要に対する内視鏡専門医の絶対数が少ない. 地域病院の要請に応じ、消化管内視鏡専門医として社会貢献を行う.		0.20	・・・沖縄中部地区の主要病院において肝臓専門外来を週に1回行っている。消化器がんの早期発見のため、下部消化管内視鏡検査を地域病院の要請に応じ、週に1回行っている。	
管理運営	0.50	琉球大学医学部附属病院輸血部副部長として、輸血部業務の管理運営を行う。医学部附属病院における針刺し事故に対する迅速な対応が可能となるよう各科の連携体制を構築し、その維持に努める。		0.40	・・・附属病院において安全で適切な輸血部業務が常に行われるよう管理を行った。針刺し事故などに関しては速やかな処置と、その後の定期的な観察をおこなっている。	
進路指導	0.00			0.00		
	0.15	日本肝臓病学会専門医、指導医として附属病院肝臓内科外来にて診療を行う。		0.15	・・・附属病院にて肝臓専門外来を行っている。	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。	

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	井関邦敏	所　属	血液浄化療法部	職　名	部長

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.15	医学部学生に対して腎・泌尿器系の系統講義、研修医相手のセミナー開催	0.15	年に8コマの学生講義およびベッドサイドでの講義を3週ごとに実施した。
研究	0.20	慢性腎臓病および慢性透析患者の臨床疫学的研究	0.20	日本透析医学会において公募研究19件、委員会研究24件が進行中であり、数編が受理または審査中である。
社会貢献	0.15	沖縄県教育委員会健康診査委員、国際学術誌の編集委員	0.05	年に2回の委員会出席。雑誌査読を月に数編行った。
管理運営	0.20	透析室（20床）における診療および内科外来患者の診療	0.30	週当たり120回前後の血液透析および10名のCAPD患者を管理している。
進路指導	0.15	学会において専門医認定、指導医認定を行う	0.15	日本腎臓学会、日本透析医学会において沖縄県内在住の専門医をそれぞれ数名認定した。
診療	0.15	内科外来において専門診療	0.15	腎臓専門医として週当たり20-30名の診療に従事した。CAPD療法を開始した。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	廣瀬　康行	所　属	附属病院・医療情報部	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	・学部学生の指導教員としての役割を果たす ・医療情報学講座に配属された大学院生を指導する（1年次ゆえ情報哲学を理解せしめることを目標とする）	0.10	・学部学生の指導教員としての責務を完遂した ・医療情報学講座に配属された大学院生を指導した
研究	0.30	・学会の報告発表にエントリーする ・学会での研究活動を支援する ・他機関との共同研究を進める ・部局内での共同研究を進める	0.30	・学会の報告発表にエントリーし、受理され、発表した ・学会での研究活動を、編集委員会の査読者として支援した ・他機関（昭和大学薬学部）との共同研究を進め、国際学会に投稿中である ・部局内での共同研究については、その検討までに留まった
社会貢献	0.40	・ISO（国際標準機構）TC215 ならびに TC249 の International Expert として世界および国益への貢献活動を継続する ・学会の研究教育事業を支援する ・歯科衛生士学校でコンピュータリテラシーの基礎を教える	0.40	・ISO（国際標準機構）TC215 ならびに TC249 の International Expert として世界および国益への貢献活動を継続した ・学会の研究教育事業を、教科書執筆などで支援した ・歯科衛生士学校でコンピュータリテラシーの基礎を効果的に教えた
管理運営	0.20	・総合情報処理センターの委員会で部局と大学全体の利益を代表する ・医学部情報ネットワーク委員会で上原地区ネットワーク環境を維持運営する	0.20	・総合情報処理センターの委員会で部局と大学全体の利益を代表して検討した ・医学部情報ネットワーク委員会で上原地区ネットワーク環境を維持運営した
進路指導	0.00		0.00	
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	山本　俊成	所　属	医療情報部	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.00	なし	0.00	なし
研究	0.35	・学会での査読付き学術発表にエントリーする ・他機関との共同研究をサポートする ・英文学術論文の投稿に努める	0.35	・第32回日本医療情報学会連合大会に「The coverage of the conceptual model on herbal medicaments was examined in several terminological resources」という演題を発表しました。（医療情報学　32(Suppl.),2012 p.302-p.305） ・他機関との共同研究のサポートは24年度に継続しなかったため、行いませんでした。 ・英文学術論文の投稿は先行研究に留まりました。
社会貢献	0.15	・ISO（国際標準機構）の International Expert の活動をサポートし、世界及び国益に貢献する	0.15	・2012年5月7日-10日にカナダに開催されるISO TC215の国際会議に必要な情報収集をサポートしました。 ・2012年9月24日-26日にオストラリアに開催されるISO TC215の国際会議に必要な情報収集をサポートしました。 ・国内のExpert が ISOに New Work Item Proposal として提出する書類の中に必要な情報の抽出と分析をサポートしました。
管理運営	0.50	・上原地区のネットワーク環境を維持運営する ・病院ホームページが稼働しているサーバ群を新しいハードウェアに移行し、新しいサーバ群を維持運営する ・他部門のネットワーク環境の構築についてアドバイスする ・病院情報システムのデータの二次利用に関する調査の計画の予備調査を実施する	0.50	・台風17号による停電後のサーバとネットワークの復旧を行いました。 ・計画停電によるサーバの停止と再開の作業を行いました。 ・新しいサーバの全体設計を終え、実装作業を行なっている最中です。 ・シエントのネットワーク環境の構築についてアドバイスしました。 ・接続不能や不安定等の問合せを対応しました。 ・総務課依頼の病院ホームページ更新（専門医、お知らせ等）を行いました。 ・病院情報システムのデータの二次利用に関する調査は、個人情報保護法の医療分野個別法が検討されているため、関連法令等の動向の調査に留まりました。
進路指導	0.00	なし	0.00	なし
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してく	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	吉田朝秀	所　属	医学部附属病院　周産母子センター	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	学部担当科目（未熟児新生児、消化器疾患）を担当し、系統講義、ポリクリ学生に対してベッドサイドティーチング等を行う。初期研修、後期研修医のへの研修指導を行なう	0.20	・・・系統講義、ポリクリ学生に対してベッドサイドティーチング等を行った。初期研修、後期研修医のへの研修指導を行った。ナース、コメディカルへの教育（週二回の講義）を企画し50回以上継続して行った。研修医のシュミレーション教育の講師を務めた。
研究	0.20	新生児医療に関する学会活動、研究論文の投稿を行う。	0.10	・・・周産期新生児学会、九州小児科学会へ参加し発表した。沖縄新生児研究会で新たに共同研究に着手した。
社会貢献	0.10	南部地区周産期ネットワーク活動を通して地域の周産期医療の充実に貢献する。新たに新生児蘇生法のインストラクターとして普及活動に従事する。	0.10	・・・沖縄県周産期ネットワーク協議会委員として『周産期情報共有システム』の整備に着手した。周産期医療の充実に貢献した。新生児蘇生法インストラクターとして活動した。
管理運営	0.20	医局長会議、周産母子センター運営委員会、輸血療法委員会その他臨時の会議に参加する。	0.10	・・・集中治療部、周産母子センター、リスクマネージャー連絡会議、輸血療法委員会など病院運営に関わる会議に参加した。院内病児保育室開設ワーキンググループを主導した。
進路指導	0.00		0.20	周産期専門医養成文部科学省「周産期医療環境整備事業（人材養成環境整備）」による補助事業「周産期医療専門医育成プログラム」を主導し、広報活動をおこなった。学生施設見学会や研修医への講演会を企画運営した。
診療	0.30	附属病院での診療を通して健康維持に貢献し未熟児医療の改善を目指す 市中病院、乳児健診を通して情報の収集と診療技術の向上をめざす。	0.30	・・・未熟児新生児室への入院数が過去最高となった。市中での救急診療、乳児健診に従事した。予防接種施行に際してアドバイス、講義を行うなど貢献した。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	安里　こずえ	所　属	医学部付属病院周産母子センター	職　名	医師（助教）

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	周産期分野で異常妊娠（多胎、血液型不適合妊娠、異所性妊娠）に関して臨床講義を行う。また、女性生殖器の系統講義を行う。さらに、臨床実習の学生に対し、3週間に1回、婦人科の超音波画像、MRI画像の講義およびレポートの指導を行う。	0.20	周産期分野で異常妊娠に関しての臨床講義を行った。また、女性生殖器の系統講義と妊娠成立についての講義を行った。臨床実習生に対しては2-4週間に1回のレポート指導をおこなった。
研究	0.20	IVF妊娠における絨毛膜下血腫発生とそのリスク因子に関して、カルテを後方視的に検討し、IVF妊娠群で絨毛膜下血腫発生が高いのか、また、そのリスク因子は何かを症例を追加して検討する。また、筋腫合併不妊症患者の治療、妊娠転帰に関して、後方視的に検討する。	0.20	IVF妊娠における絨毛膜下血腫発生とそのリスク因子に関して、症例を追加し日本生殖医学会九州支部会で発表した。現在論文作成中である。また、筋腫合併不妊症の治療、妊娠転帰に関しては、後方視的に研究し、沖縄産婦人科学会、日本生殖医学会で発表した。
社会貢献	0.05	沖縄女性医師フォーラムの指南役として可能な限り会に参加し、女性医師の抱える問題に関して考えていく。	0.05	女子医学生、女性医師の抱える問題や意見を傾聴し、アドバイス等を行った。医師のQOL向上のため、当直明けや救急業務後の負担軽減など、医局の会議等で呼びかけた。
管理運営	0.10	おきなわクリニカルシュミレーションセンターの会議・運営に携わり、手技の指導・マニュアル作成などを行う。また、卒業試験、総合試験、ポリクリ移行試験などの問題作成、試験監督、採点、評価の業務に携わる。	0.10	卒業試験、総合試験、ポリクリ移行試験の問題作成、採点、評価を行った。臨床実習の技能試験（OSCE）の実習と試験監督業務を行った。
進路指導	0.05	今後の医師として進むべき進路や、学習の方法など、臨床実習生や初期臨床研修医の意見を傾聴し、指導を行う。	0.05	臨床研修中の学生や初期臨床研修中の医師に対し指導をおこなった。後期臨床研修医の助産介助、専門医試験に関して指導、アドバイスを行った。
診療	0.40	婦人科良性疾患に対する腹腔鏡下手術や不妊症患者に対する腹腔鏡精査を実施する。また、一般不妊治療、体外受精治療を行いながら、月経不順、思春期早発症、更年期障害などの治療を行う	0.40	一般不妊治療、体外受精などの生殖補助医療業務、良性疾患、更年期障害、月経異常に対する診療、良性疾患に対する腹腔鏡手術などを行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	平敷 千晶	所　属	産婦人科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	不妊、内分泌に関する系統講義を行う。また、5年次、6年次の臨床実習における教育を担当する。外来や手術などを含めて、臨床的な実習ができるよう配慮する。	0.20	系統講義においては最新のデータを基に授業を進めた。臨床実習においては、クリニカルクラークシップへの移行に伴い、より臨床的な内容で実習ができるよう調整した。
研究	0.30	卵巣広汎性浮腫、体外受精・胚移植、婦人科内視鏡手術の領域において研究を行う。産婦人科内視鏡学会、受精着床学会、生殖医学会において研究結果を発表し論文を作成する。	0.30	体外受精・胚移植、および婦人科内視鏡手術の領域において、生殖医学会九州支部会、生殖医学会において研究結果を発表した。その内容について論文を作成中である。
社会貢献	0.05	沖縄県医師会女性医師部会のフォーラムに参加し、女性医師のライフワークバランスについて検討する。	0.05	女性医師フォーラムへ参加し、女性医師の情報共有に努めた。
管理運営	0.00		0.00	
進路指導	0.05	将来の沖縄県における産婦人科医師増加に寄与するべく教育に当た	0.05	系統講義、臨床実習において、産婦人科の魅力を分かりやすく伝えるよう努めた。
	0.40	一般不妊治療、高度生殖補助医療に従事する。	0.40	一般不妊治療、高度生殖補助医療、婦人科内視鏡手術に従事した。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）						
名　前	銘苅　桂子		所　属	周産母子センター	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	1．講義内容の充実(臨床に即し、わかりやすい内容) 2．Bed side teaching の充実（産婦人科に興味をもてるような内容） 3．医師国家試験問題を意識した試験問題の作成 4．研修医、後輩医師の教育、学会発表の指導 5．OSCE, CBTへの参画・協力	0.15	1．講義内容の充実(臨床に即し、わかりやすい内容)を図れた。 2．Bed side teaching の充実を行った。 3．医師国家試験問題を意識した試験問題の作成した。 4．研修医、後輩医師の教育、学会発表の指導を行った。 5．BPE, OSCE, へ参画・協力を行った。
研究	0.20	1．学会誌への投稿、発表 2．学会での報告発表 3．学会内の委員活動 4．生殖専門指導医取得 5．市販後臨床試験の実施	0.25	1．学会誌への投稿、発表を行い、採択された。 2．学会での報告発表を複数学会で行った。 3．学会開催の準備を行った。 4．生殖医療専門医を取得した。 5．市販後臨床試験の実施した。
社会貢献	0.08	1．県医師会女性医師部会副部会長としての活動 2．学外での産婦人科疾患の啓蒙（啓発）活動 3．生殖医学会九州支部への評議員としての参画	0.09	1．県医師会女性医師部会役員としての活動を行った。 2．学外での産婦人科疾患の啓蒙（啓発）活動 3．生殖医学会九州支部への評議員として参画した。 4．沖縄県公務災害補償等認定委員会委員として活動した。
管理運営	0.10	1．学部内委員会出席 2．体外受精・胚移植施行施設管理 3．院内託児所設置委員としての活動	0.10	1．学部内委員会（医療材料検討委員会、血液浄化療法部委員会）出席 2．体外受精・胚移植施行施設管理 3．院内病児保育所設置委員としての活動
進路指導	0.02	1．県医師会女性医師部会役員として県内女性医師や学部内女性医学生からの進路相談	0.01	1．県医師会女性医師部会役員として県内女性医師や学部内女性医学生からの進路相談を行った。
診療	0.40	1．安全に十分配慮した医療 2．患者さんへの説明と同意を十分に得て行う医療 3．不妊治療成績の向上 4．腹腔鏡下手術件数の増加	0.40	1．安全に十分配慮した医療を行った。 2．患者さんへの説明と同意を十分に得て行う医療を行った。 3．不妊治療数の増加、成績の向上が得られた。 4．腹腔鏡下手術件数の増加が得られた。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	齊尾　征直	所　属	病理部	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	1．臨床実習における学生の指導を行う。その際、個々の症例の捉えかたを的確かつ丁寧に指導できるように自らの知識の充実をはかる。2．病理部に研修にくる初期研修医の指導を行う。その際に組織の顕微鏡的観察だけではなく。肉眼診断の重要性、臨床情報の理解が重要であることを認識させる。	0.30	1．臨床実習における学生の指導を行った。その際、個々の症例の捉えかたを的確かつ丁寧に指導できるように自らの知識の充実をはかる。2．病理部に研修にくる初期研修医の指導を行った。その際に組織の顕微鏡的観察だけではなく。肉眼診断の重要性、臨床情報の理解が重要であることを認識させることができた。
研究	0.20	1．外科病理組織を用いた病理学的な研究を確立し、学会発表や論文作成を目指す。2．研究指導を行い論文作成の指導を行う。 3．外部資金の獲得を目指す。	0.20	1．上皮間葉変換の仕事を進めた。2．研究指導を行い論文作成の指導を行った。
社会貢献	0.10	1．地域医療として、宮古病院での臨床症例カンファレンスに病理側として参加し、医療の質の向上に対する貢献を継続する。 2．本島での種々の病院標本の病理診断に貢献する。	0.10	1．地域医療として、宮古病院での臨床症例カンファレンスに病理側として参加した。 2．本島での種々の病院標本の病理診断を行った。中頭病院の遠隔病理診断を行った。4．全国国立大学病院病理部会議出席、日本病理学会での大学病院病理部会議に出席した。5．日本病理学会の施設審査委員会委員を務めた。
管理運営	0.05	1．各種担当委員会に可能な限り参加する。	0.05	1．感染症実務者会議委員を務めた。2．移転の診療部門WGの委員を務めた。3．部長、科長不在の時の代理での委員会出席を行った。
進路指導	0.05	1．指導学生との対話のための時間設定を充実させる。	0.05	3年次の指導教員としての実務を行い、学生の勉学意欲向上をはかった。
診療	0.30	1．病理部副部長として円滑な病理診断体制を維持するために日常診療に積極的に取り組み、病理部の運営にも積極的に取り組む。 2．遠隔病理支援システムを模索する。	0.30	1．病理部副部長として円滑な病理診断体制を維持するために日常診療に積極的に取り組み、病理部の運営にも積極的に取り組んだ。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	金城　福則	所　属	医学部附属病院・光学医療診療部	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	1.臨床実習における消化器疾患診療の基本を理解してもらう。2.系統講義における腸管感染症の病態、診断と治療について理解してもらう。3.日常診療で得られる貴重な臨床症例を授業に反映させる。	0.25	1.臨床実習を行うにあたって、第一内科の外来診療時に行っていた指導が中止となり、役割を果たせなかった。2.系統講義を担当するにあったては十分に役割を果たせた。2.臨床症例も授業に十分に活用できた。
研究	0.30	1.炎症性腸疾患の治療法についての確立に努める。2.消化管がん検診における有効なスクリーニング方法の確立に努める。3.消化器関連学会での教育講演、評議員など役員としての活動を継続する。4.第37回日本消化器内視鏡学会セミナーの会長として準備を進める（2013年5月開催）。	0.30	1.厚生労働省の炎症性腸疾患調査研究班の治療指針の作成に関与した。2.消化管がん検診の精度管理に関与した。3.消化器関連学会の役員として、消化器疾患に関する多施設共同研究も行っている。4.第37回日本消化器内視鏡学会セミナーの会長として準備を進めている。
社会貢献	0.10	1.難治性炎症性腸疾患患者のセカンドオピニオンを受ける。2.消化管がんの検診の必要性についての啓発活動を継続する。3.沖縄県におけるがん検診精度管理を継続する。4.その他沖縄県の地域医療に貢献する。	0.10	1.NPO法人アンビシャスや宮古保健所管内で難治性炎症性腸疾患患者を対象に医療相談を行った。2.胃・大腸がん検診従事者を対象とした講演会を企画・実施した。3.沖縄県における消化管がん検診の精度管理を行った。4.沖縄県内の医療機関における医療相談も行った。
管理運営	0.20	1.消化器内科（未設置）、光学医療診療部の充実を計る。	0.20	1.消化器内科の設置に向けて、中期計画案に対して提言した。光学医療診療部の設備充実に向けて、平成24年度の高額の概算要求を行い、実現できた。
進路指導	0.05	1.後期研修における消化器内科専攻希望者の確保に努める。	0.05	1.後期研修医の確保に難渋している中、消化器専門医を志す医師を毎年確保しており、平成25年度は現在のところ1名が確保できている。
診療	0.10	1.外来患者の紹介率の向上に努める。2.光学医療診療部の検査件数の増加に勤める	0.10	1県内だけでなく、他府県からの紹介患者も増加している。病病・病診連携も良好に行われた。2.光学医療診療部の検査件数に関しては例年と大きな変化はなかったが、治療内視鏡の件数が著しく増加した。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	金城　渚	所　属	附属病院　光学医療診療部	職　名	助　教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	医学部学生への臨床講義を半年に1～2コマ担当する。ポリクリ実習生、研修医、後期研修医、また消化器病・内視鏡専門医をめざす医師に対し消化器内視鏡全般の指導を行う。消化器病学会、内視鏡学会、消化器がん検診学会を中心に年に数回発表もしくは発表時の指導を行う。	0.25	本年度も臨床講義を半年に1コマ担当した。ポリクリ実習生、研修医、後期研修医に対し消化器内科および消化器内視鏡についての指導を行った。学会・研究会活動についても発表時の指導を行った。
研究	0.25	ラオス国セタティラート病院における内視鏡技術移転について現地ラオス人医師とメールにて内視鏡所見データのやり取り、データの解析を進めている。2012年10月にはラオス人医師の更なる内視鏡技術支援目的に短期滞在での研修を当科において予定している。	0.25	ラオス国セタティラート病院内視鏡部門と内視鏡データのやりとpりを継続している。2012年10月にはラオス人医師1名を招聘し、1カ月間内視鏡についてのトレーニングを行った。
社会貢献	0.20	2013年5月に開催される第83回日本消化器内視鏡学会総会（会長：川崎医科大学　春間　賢教授）と併設開催される第37回日本消化器内視鏡学会セミナー（世話人：琉球大学医学部附属病院　光学医療診療部　部長　金城福則）の事務局長としてセミナー運営準備中である。	0.20	2013年5月に開催される第37回日本消化器内視鏡学会セミナー（会長：琉球大学医学部附属病院　光学医療診療部　部長　金城福則）の事務局長としてセミナー運営の準備を行ってきた。
管理運営	0.25	日々の内視鏡業務運営が　トラブルがなくスムースに行えるよう心がけている。具体的には、安全管理対策報告、不定期ではあるが関連診療科（光学、第1内科、第1外科、第2外科）間の協議：光学医療診療部小委員会を1～2カ月に1回開催している。	0.25	今年度の内視鏡業務運営はトラブルがなくスムースに行えた。安全管理対策報告（毎月）、関連診療科（光学、第1内科、第1外科）間の協議：光学医療診療部小委員会（8回/年度）を開催した。
進路指導	0.05	これまでに進路指導の経験は無い。消化器疾患の中で主とする専門分野として、細分化された上部消化管疾患、下部消化管疾患、肝胆膵疾患について大まかな説明は可能であり、これまでも相談を受けてきた。	0.05	消化器疾患の中で主とする専門分野として、細分化された上部消化管疾患、下部消化管疾患、肝胆膵疾患について大まかな説明を2-3の研修医、後期研修医に行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	岸本幸明	所　属	リハビリテーション部	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	医学部におけるリハビリテーション学分野の講義（総論・各論）担当。医学生の臨床実習指導。	0.10	昨年度より効果的な講義・指導ができた。
研究	0.10	骨転移がリハビリに及ぼす影響や心臓リハビリ立ち上げ後の変化について調査する。	0.10	さらなる症例の収集が必要
社会貢献	0.20	沖縄県更生相談所の判定業務の嘱託医業務の担当。離島などの僻地における巡回相談の担当。（それぞれ肢体不自由分野）	0.20	滞り無く対応できた。
管理運営	0.20	リハビリテーション部における療法士との業務調整。リハビリテーション施行患者、理学療法・作業療法単位数の把握。病院内緩和ケアチームの担当。	0.20	リハビリチームのリーダーとして対応できた。
進路指導	0.10	リハビリテーション研修希望者へ他大学・病院含めた情報提供（ポス	0.10	将来リハビリを希望する学生に情報提供・指導を行った。
	0.30	各科リハビリテーション依頼患者における診療（評価・指導）担当。	0.30	適切な評価、指導、リハビリ処方を行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	有賀　拓郎	所　属	遠隔画像診断センター（放射線科）	職　名	特命助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	・放射線治療の重要性の教育。 ・放射線治療の適応の教育。	0.10	右記に関しては一応の目標達成を得られたと考えられる
研究	0.20	・早期子宮頸癌に対する放射線治療の全国集計結果の論文化。 ・進行食道癌の根治的放射線治療成績の論文化。 ・前立腺癌全骨盤照射および小線源治療の論文化。	0.20	いずれも論文化作業を進行中。更なる努力が必要と考えられる。
社会貢献	0.20	・社会に提供可能なサービスの拡大。 ・市民公開講座などを通して放射線治療の啓蒙。	0.20	啓蒙活動を行っているが、未だ十分とは言えない。今後も努力を要する。
管理運営	0.20	・遠隔画像診断事業の円滑な運営。 ・放射線治療のQA/QCの安定化。	0.20	安定的なQA/QCが可能となっており、一応の目標達成を得られたち考えられる。
進路指導	0.10	・学生、研修医に対する放射線治療の啓蒙。	0.10	啓蒙・教育活動は十分行っている。今後も継続していく。
診療	0.20	・当院での高精度放射線治療の拡大。 ・小線源治療（子宮頸癌　前立腺癌）の標準化。 ・放射線治療の適応増加。	0.20	本年度にて強度変調放射線治療の適応拡大、体幹部定位照射の開始、小線源の安定化など、十分な成果と考えられる。継続して今後も努力する。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	小田正美	所　属	ME機器センター	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	臨床工学技士養成校からの学生受け入れ、研修医、看護師、院内職員のME機器の原理、取り扱いについての教育、指導	0.25	臨床工学技士養成校から3名の学生を2ヶ月受け入れた。新人職員に医療機器安全管理の重要性の講義、研修医、看護師にME機器原理と取り扱いについての教育、指導を行った。（ME機器センター全体で30回開催し、述べ1411名の職員研修を行った。）
研究	0.20	医療機器安全におけるインターフェースの開発などを手がける	0.20	ME機器の精度の検討、無線（ZigBee）を利用したME機器とのインターフェースを作成した。また血液浄化療法に使用する検査結果を一元管理するソフトの開発を行った。これの結果は、日本臨床工学技士会、日本医療機器学会、日本透析医学会において発表した。
社会貢献	0.15	関連学会の役員、事務局などを行う。	0.15	血液浄化技術学会において医師、看護師、臨床工学技士を対象にモニタリングの講演を行った。また血液浄化学会、日本臨床工学会の代議員を務め、学術委員、会誌編集委員長、査読委員を行った。
管理運営	0.40	医療機器の適正配置、修理などの管理を総合的に考える。	0.40	医療機器の安全を確保するためにME機器に関する情報を発信し院内職員に周知している。また医療機器の修理や更新を行うための技術的な情報を事務方と週1回打ち合わせしアドバイスしている。在宅医療機器の管理を行うために院内のマニュアル作り、業者との連絡調整を行い医療機器の適切な運営管理が行えるようにしている。
進路指導	0.00		0.00	
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	井上　卓	所　属	医学部附属病院 専門研修センター	職　名	特命助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	専門研修センターの臨床研究医育成部門において、専門修練医に対する、EBMを中心とした勉強会を継続する。また同臨床研究部門におけるOJTプログラムのサポートを介し、専門修練医に現場で臨床研究を学んでもらう。さらに臨床薬理学講座の講義では、M5M6の学生に対する講義で、臨床研究の理解に関する知識を教授する。	0.20	専門修練医に対し、EBMを中心とした勉強会を継続して行った。臨床研究部門におけるOJTプログラムのサポートは、十分ではなかったが、他院の修練医・専門医に臨床研究を指導し、学会発表に至った。現在論文化を行っている。臨床薬理学講座では、M5M6の学生に対しEBMに関する講義を行い、臨床研究の理解に関する知識を継続して教授した。
研究	0.30	厚生労働省科学研究・および文部科学省科学研究に従事している。平成23年度に行った中間報告結果をうけ、最終報告に向けた準備を行う。今年度は国内学会発表3件、国際学会発表1件、原著論文3編、英文総説1編、財団よりの助成金の獲得を目指す。	0.25	厚生労働省科学研究・および文部科学省科学研究に従事している。厚生労働省科学研究は研究継続、文部科学省科学研究は最終報告を行い、現在論文化を行っている。今年度の国内学会発表4件、国際学会発表1件、原著論文2編、英文総説1編。循環器疾患のガイドライン策定に従事することとなった。
社会貢献	0.10	上記臨床研究結果を公表し、循環器疾患に関するガイドラインの策定に寄与する。また臨床研究を介して構築された、沖縄県循環器疾患のネットワーク施設における学会発表指導、原著論文作成の指導を行う。また関連した勉強会を継続し、学術講演会を行うことにより、他施設での臨床研究活動をサポートする。	0.20	臨床研究が可能な施設への研究参加をつのり、研究基盤を継続して構築した。関連施設での勉強会を継続し、学会発表の指導を行った。へき地中核病院に対する巡回回診診療診療のコーディネートを継続した。また、離島診療所に対する巡回回診指導を始動させ、沖縄県病院事業局との協同事業に発展させた。結果として、来年度より沖縄県からの予算で、特命助教雇用となる予定。
管理運営	0.30	引き続き医学部附属病院専門研修センターの運営に直接携わり、事業が円滑に行われるように活動する。同センターが主催・協賛するワークショップ・セミナー等の広報・運営業務も継続して行う。	0.20	専門研修センターのコーディネーターとして、大学間、各診療科・部署および沖縄県との折衝を積極的に行い、専門修練医のサポートを行った。また専門研修センター主催のシンポジウムの企画運営に貢献した。離島僻地病院の巡回回診診療に関し、病院と当院各診療科との折衝を行った。また沖縄県との折衝を行い、上述のごとく、事業を発展的に継承させた。
進路指導	0.10	臨床薬理学講座の講義を受ける学生に対して、初期研修病院の情報を提供し、スムーズに臨床研修が行えるようにサポートを行う。	0.10	臨床薬理学講座において、講義を受講する学生に、卒業後の医師のキャリアパスを示し、今後選択しうる進路について個別に説明を行った。特に初期研修病院の情報を提供し、スムーズに臨床研修が行えるようにサポートを行った。
診療	0.00	依頼があれば、内科特に循環器診療のサポートを行う。	0.05	診療依頼がなく、今年度は診療に対する貢献は行わなかった。定期的に開催される、循環器内科・外科の合同カンファレンスに参加し、問題症例に対するコメントや意見を積極的に述べた。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）						
名　前	宮城　めぐみ		所　属	医学部附属病院専門研修センター	職　名	特命助教
領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定		業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果	
教育	0.10	医学部学生および研修医、専門修練医に対して、腎臓・高血圧疾患に関する教育企画に従事する。		0.20	①医学部学生および研修医、専門修練医に対して、腎臓・高血圧疾患に関する教育企画に従事した。②カリキュラム改革のための教員向けFDを開催した。	
研究	0.10	これまで動脈硬化に関する基礎研究を行った経験を生かし、動脈硬化性疾患と微量ミネラルとの関わりについて研究を行う。今年度、科学研究費補助金を申請し、研究資金の獲得を図る。		0.10	今年度、科学研究費補助金を申請した。潜在性鉄欠乏が血管内皮に及ぼす 影響について研究を行うために資金の獲得を図っているところである。	
社会貢献	0.20	①沖縄県内の女性医師等就労支援事業への参画。②地域の医師不足解消に貢献できることを目指し、沖縄県医師会と連携して休職医師の復職支援に関する講演会を開催する。		0.20	①沖縄県医師会主催の病院長懇談会へ参画した。②医学生や医師を対象にキャリアパス形成に関する交流会を開催した。③当大学における女性医師等支援の取り組みについて、北海道大学病院女性医師等就労支援事務局と意見交換を行った。④12月から医学教育企画室の専任教員として臨床実習・離島実習の企画・運営を行った。	
管理運営	0.10	大学間連携事業のコーディネートを行う。		0.20	①大学間連携事業のコーディネートを行った。②院内病児保育所設立に向けて検討を行うワーキンググループに参画した。③当病院における腎臓内科の女性支援就労支援研修プログラムを作成した。④臨床実習の履修簿作成に関与した。	
進路指導	0.40	①専門研修センターの復職支援事業として離職した医師の再就職支援をサポートする。②専門研修センターで業務として実施する院内の専門資格取得プログラムの管理。③研修医・専門修練医対象の合同進路説明会の企画・運営。④専門研修センターで随時大学内外の学生や医師からの進路相談を受け付ける。		0.20	①専門研修センターの復職支援事業として離職した医師の再就職支援を行った。②研修医・専門修練医対象の合同進路説明会の企画・運営を行った。③専門研修センターで随時大学内外の学生や医師からの進路の相談を受けた。	
診療	0.10	外来診療業務		0.10	時間外の病棟業務に従事した。	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。	

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	百名　伸之	所　属	骨髄移植センター	職　名	特命準教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	医学部学生に対し、講義、ポリクリ指導を行う。特にポリクリではチュートリアル方式を採用し、学生自ら問題を見つけ出し、それに自由な発想のもとに全員で回答を創造する形式をとる。教官としては必要な医学的情報を提示し、考える力、論理的思考、斬新な発想を促す役割を担う。研修医には臨床の実践を指導する。	0.10	・・・学生の自発性を促すことができ、単なる知識の植え付けではない創造的教育ができた。研修医には実践を指導した。
研究	0.30	多施設共同臨床研究により小児がんの標準的治療の確立を目指す。希少、難治性疾患については臨床試験により新規治療開発を目指す。基礎研究として移植後の免系再構築の分子学的解析を行う。原著論文は2編執筆する。	0.20	・・・複数の多施設共同臨床研究に参加し、症例の登録、データ収集、解析を行った。また倫理審査の承認のもとに、保険適応外薬剤を臨床試験として使用し、その安全性、有用性を検討した。論文は共著で英文雑誌に2編掲載、筆頭著者では1編を執筆中。全国学会で4演題を発表した。
社会貢献	0.10	骨髄バンク認定施設として、ボランティアドナーの骨髄採取を行う。また、調整医師として、ドナー候補への骨髄採取説明を行う。社会の啓蒙活動として、一般市民への講演を行う。	0.10	・・・月1、2例のバンクドナー骨髄採取を行った。調整医師活動も同程度行った。骨髄バンク推進月間で骨髄移植について講演した。12月1日には骨髄移植財団より調整医師としての活動に対して感謝状を授与された。
管理運営	0.10	骨髄移植センターの人事を担当する。また、センターの運営に必要な物品購入を行う。	0.10	・・・新規委員の採用、人事異動を行った。また、臨床心理士の募集、採用を行った。センターの活動に必要な物品を購入した。
進路指導	0.10	医学部学生に対し、卒後の臨床研修方法、将来の専門科選択について現状を説明しつつ指導する。	0.10	・・・医学部学生に対し、講義、ポリクリにおいて、臨床研修の考え方を指導した。また、他病院、本院の研修制度の特徴について説明した。専門科選択については、小児科、骨髄移植センターの現状を、説明会を開催してスライドで説明した。
診療	0.30	骨髄移植センターとして、造血細胞移植を積極的に行う。特に小児は県内で唯一の施設ため、県内での移植医療の完結を目指す。小児がん一般については、沖縄県立南部医療センター・こども医療センターと共同で診療を行う。	0.40	・・・年度内に9例、13回の造血細胞移植を行った。これにより県外紹介は0であった。小児がん・血液一般の診療を行い、沖縄県立南部医療センター・こども医療センターと協力して県内で完結することができた。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	仲地　佐和子	所　属	医学部附属病院骨髄移植センター	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	(1)ポリクリ学生、研修医への教育、レクチャー	0.20	ポリクリ実習生、研修医とともに毎日、朝夕のグループ回診を行い、担当患者への診療指導を行えた。検査や処置についても適宜、レクチャーを行った。
研究	0.20	(1)症例リサーチ：症例報告発表　（2）日本成人白血病研究会(JALSG)の多施設共同研究の施設参加	0.10	JALSGの審査に通り、認定施設となった。また、十数回の県内外の研究会、講演会に参加・実地できた。ATLの症例リサーチについて多施設共同の臨床研究を開始している。
社会貢献	0.10	(1)製薬会社の勉強会、座談会（年2―4回）（2）県内血液内科関連施設との協力関係の構築（BCR-ABL変異解析、CD34測定）	0.05	(1)制薬会社主催の講演会などの演題発表、座長を勤めた。(2)県内の慢性骨髄性白血病に対してBCR-ABL変異解析(保健外、臨床研究)のサポートを行え、社会貢献できた。
管理運営	0.05	(1)9西病棟の無菌室の蘊奥にかかる安全管理	0.05	(1)移植症例も前年度より増加しており、9西病棟の無菌室の稼働率も高くなっているが特に問題なく、管理できている。
進路指導	0.05	血液内科を希望する研修医、学生に対しての研修先などの進路指導	0.10	血液内科に興味のある学生にはさらに詳細なレクチャーを、血液内科の専攻を考えている研修医に関しては県内での血液内科の診療状況、関連施設など進路指導を行った。その結果、2名の後期研修医を受け入れることとなった。
	0.50	(1)血液内科に関する診療；外来診療、入院診療　（2）骨髄バンクドナ	0.50	(1)血液内科の外来診療は大きな問題もなく経過した。昨年と比較して、血液疾患患者の増加を認める。(2)骨髄バンクドナーの骨髄採取は小児科血液医と協力し、これまでの月1回から月2回のペースで行えるようになった。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１） 本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	阿部幸恵	所　属	地域医療教育開発講座	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.40	・シミュレーション教育の指導者のためのFDの実施を年１０回以上行う・医学部学生対象といたシミュレーション教育プログラムを作成し、実施する。県内の医療系学生及び医療職を対象としたシミュレーション教育プロラムの開発と実施	0.40	・ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ基盤型ｾﾐﾅｰ　FunSim-J　　医師・看護師対象　県内2回実施 ・ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝで学ぶ国家試験対策（1回／週　1時間） ・医学部　地域医療研究会　ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ（不定期　1回／月） ・H24年度研修医 「ﾁｰﾑSTEPPS」 ・看護副師長対象ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ研修 ・婦人科病棟 「新人看護師　検温ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ」 ・H24年度沖縄県採用臨床研修医対象ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ ・看護部 9階東病棟 「体位変換・移送ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ」 ・看護部 「指導者研修」 ・看護部 「多重課題・時間切迫ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ」 ・研修医対象 「熱傷ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ」 ・医学部　地域研究会 「ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ講習」 ・卒後臨床研修センター 「人工呼吸器ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ」 ・保健学科 「急性期看護実践学講義」
研究	0.20	学会発表3本・学会誌投稿和文1本　英文2本　M&S研究会での編集委員としての役割を果たす（定期的な査読）	0.10	・中日病院管理ｻﾐｯﾄﾌｫｰﾗﾑ「感染対策ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ」 ・第38回日本看護研究学会学術集会 「学習者の伸びを促す！ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ指導者のためのﾃﾞｨﾌﾞﾘｰﾌｨﾝｸﾞ体験型ﾗﾝﾁｾﾐﾅｰ」 、「交流集会Ⅰ　ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育を支えるｴﾋﾞﾃﾞﾝｽの構築」 ・第24回日本看護学校協議会学会　特別講演 「ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育」 ・第7回九州臨床工学会 「臨床工学技士とｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育」 ・沖縄医学会雑誌　第50巻 「おきなわImmediate Stroke Life Support (ISLS)ｺｰｽ　-開催経験の検証と今後の課題-」 ・American Association of Critical Care Nurses　Volume22, No.1 「Repeated Scenario Simulation to Improve Competency in Critical Care: A New Approach for Nursing Education」
社会貢献	0.20	他施設でのシミュレーション教育指導者のためのFDの実施年１０回程度行う、小・中学生対象のシミュレーションを通した医療・健康セミナー開催、市民対象医療・健康セミナー開催	0.30	・ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ基盤型ｾﾐﾅｰ　FunSim-J　　医師・看護師対象　県外2回実施 ・比嘉眼科 「ｱﾅﾌｨﾗｷｼｰｼｮｯｸの救急処置について」（1.5時間 / 1回　全4回） ・沖縄県病院薬剤師会 「薬剤師のためのﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ」（不定期　1回～2回 / 月） 全13回 ・沖縄県看護教育協議会 「沖縄県専任教員再教育研修」（2回 / 月　合計20時間） ・那覇看護専門学校 「国家試験対策ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ」（6回）、「里帰りﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ」（全2回）、「ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育指導者に向けての指導」、「卒業前ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ」 ・沖縄県看護協会　ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ 「ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育における指導の基本」、「ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育の基本的な指導法」、助産師の自立した動きを目指して「妊婦のﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ」、「ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育の振り返りｾｯｼｮﾝに焦点をあてた指導法」 ・滝川市高等看護学院 「医療におけるｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育」 ・滝川市立病院 「ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育の新人教育への応用」 ・沖縄県立看護大学 「ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄにおける効果的な指導」、「ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄｼﾐｭﾚｰﾀｰを活用したｱｾｽﾒﾝﾄの実際と臨床判断」、「面接と健康歴聴取の技法とﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ」 ・名桜大学 「母性看護学　ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ実習」 ・長野県立須坂病院 「ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育で共に学ぶ、ともに育つﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰへ！」～指導の呪縛からの解放～ ・ﾚｰﾙﾀﾞﾙﾒﾃﾞｨｶﾙｼﾞｬﾊﾟﾝ株式会社 「看護実践力UP！驚きの多重課題」、National SUN Simulation User Network 「明日から使える効果的ﾃﾞｨﾌﾞﾘｰﾌｨﾝｸﾞ」 ・おきなわｸﾘﾆｶﾙｼﾐｭﾚｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ 「高校生対象　医療者体験」/「小学校5、6年生対象　医療体験学習　Kid's Sim」 ・日本看護協会出版会　平成24年度全国看護セミナー「ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育における効果的な指導」ﾍﾞｰｼｯｸ（3回）、ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ（3回）、ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ2（1回） ・那覇市立病院 「看護学におけるｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育」について ・鳥取県看護協会 「看護職員実習指導者養成講習会」、「平成24年度鳥取県新人看護職員教育担当者研修」 ・名古屋大学医学部附属病院 「平成24年度　やってみよう！ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ」 ・豊見城中央病院 「ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ研修」、「ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育を学ぶ」、「ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育指導者養成研修」、「ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ医学教育（ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ活用について）」、「多重課題シミュレーション指導者振り返り」 ・秋田大学医学部附属病院　ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育指導者ｾﾐﾅｰ 「ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育の基礎と急変患者対応」 ・京都府看護協会　教育ｾﾐﾅｰⅢ 「ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育～院内教育ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰの育成～」 ・沖縄病院 「看護師長・副看護師長ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ研修」（2回） ・関西医科大学卒後臨床研修ｾﾝﾀｰ 「ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育における効果的な指導研修」 ・沖縄看護専門学校 「臨床現場に活かすｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ学習を知る」 ・浦添看護学校 「臨床で輝けるﾅｰｽになるために」 ・日本赤十字看護大学 「看護教育現場におけるｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ教育の効果」
管理運営	0.20	おきなわクリニカルシミュレーションセンター事業構想・推進・予算に関わる部会の運営、センターの管理システムの構築	0.20	・構想委員会　計2回　　・推進委員会　計1回　・ｼﾐｭﾚｰﾀｰ仕様策定委員会　計1回　・ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝｾﾝﾀｰに関する勉強会　計2回　・県内指導者を募ったｺｱﾒﾝﾊﾞｰ会議　計4回　・沖縄県採用臨床研修医対象ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ会議　計6回
進路指導	0.00		0.00	
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定し、で	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（1枚目）

名　前	小宮　一郎	所　属	医学部附属病院　地域医療システム学講座	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.20	①初期臨床研修センター副センター長として研修医の臨床研修の資質向上に貢献する。②教務委員会副委員長として委員会活動に積極的に参加する。医学教育カリキュラムの改編作業の中心として、臨床医学及び臨床実習の改革を行う。③地域医療枠学生の指導・教育に携わる。	0.20	①初期臨床研修センター副センター長として研修医の臨床研修の資質向上に貢献した。②教務委員会副委員長として委員会活動に積極的に参加した。医学教育カリキュラムの改編作業の中心として、臨床医学及び臨床実習の改革を行った。③地域医療枠学生の指導・教育に携わり、県外地域医療にも同行し、25年2月下旬には長野県佐久・大町実習を企画立案した。県内の地域医療実習として、学生主導のセミナー開催に協力し、伊平屋島での実習にも参加した。
研究	0.20	①沖縄県の地域医療の在り方を研究する。①新たな医学教育の在り方を研究し、実践する。③糖尿病の診療を通じて、沖縄の糖尿病患者の予後改善を目指した臨床研究を行う。④脂質代謝異常と癌の疫学的研究を行い、癌の早期発見に関連する研究を行う。	0.20	①沖縄県の地域医療の在り方を研究した。①新たな医学教育の在り方を研究し、平成２４年７月に横浜での医学教育学会で発表した。③糖尿病の診療を通じて、沖縄の糖尿病患者の予後改善を目指した臨床研究を行い、県内外で成果を講演した。特に高脂質・高蛋白質食摂取での血糖上昇について持続血糖測定装置を用いた研究を行い新たな知見を得た。④脂質代謝異常と癌の疫学的研究を行い、癌の早期発見に関連する研究を行い、総説論文を執筆し、原著論文として現在投稿中である。
社会貢献	0.20	①沖縄県の地域医療再生計画に参画する。②北部・離島地域の巡回診療の企画運営を通じて、地域医療に貢献する。③県内の市町村の健康教室（金武町）の講師を務め、県民の健康増進に貢献する。④CBTや医師国家試験対策の担当者の一員として、我が国の医学部CBT問題の改良に取り組む。	0.20	①沖縄県の地域医療再生計画の会議に参加した。②北部・離島地域の巡回回診の実施に向け、県と協議を開始した。③県内の市町村の健康教室（金武町）の講師を務め、県民の健康増進に貢献した。④OSCEの外部評価委員として、我が国の医学部OSCEに協力した。
管理運営	0.20	①初期臨床研修センター副センター長、教務委員会副委員長、専門研修センター委員、地域医療部運営委員として活動に積極的に参加し、初期研修医・専門研修医の資質向上に関与する。	0.20	①初期臨床研修センター副センター長、教務委員会副委員長、専門研修センター委員、地域医療部運営委員として活動に積極的に参加し、初期研修医・専門研修医の資質向上に努力した。
進路指導	0.20	①医師国家試験対策委員長として、医学部学生の合格率向上に努力する。在学生の中の成績下位者に対する面接や集団指導を行い、国試の合格率を上げる努力を行う。②学内講師による補講や学外講師による集中講義の企画運営を行う。③既卒の国試浪人を対象とした個人指導を行う。	0.20	①医師国家試験対策委員長として、医学部学生の合格率向上に努力した。成績下位者に対する面接や集団指導を行った。②さらに平成24年11月7日・8日の両日には県外講師による2日間の集中補講を企画した。③既卒の国試浪人を対象とした個人指導を平成24年4月から11月まで行い、さらに卒業延期となった学生を対象に平成24年１２月から国家試験向けの個人授業を開始し、現時点でも継続している。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	宇野　司	所　属	病院薬剤部	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	医学部臨床実習学生に対し，薬物治療と薬剤の適正な使用方法を講義するとともに，薬学部長期実務実習生へ，臨床参加型の実務を経験させ，さらに同じ病院で働くメディカルチームの一員としての心構えを教える。また，当薬物治療学講座，大学院生に対しては，特に英語論文執筆の必要性と実践を教えることを目標とさせる。	0.25	医学部学生や大学院生に対する薬物治療と薬剤の適正な使用法に関する講義を滞りなく行うとともに，薬学部長期実務実習は年間3期を通じて，指導教育を行うとともに，がん認定薬剤師研修生を1名受け入れ，これも修了させている。　　また，当薬物治療学講座博士課程大学院生は，英語論文一報が現在acceptされている。
研究	0.25	現在，薬物測定の意義が見直され，薬物治療にとっての臨床薬物濃度測定（TDM）の必要性が臨床の場で求められていることから，当薬剤部，または薬物治療学講座では，本年度は各種薬剤の血中濃度測定法を種々確立することを目的とする。	0.25	今年度より，薬物血中濃度測定装置のLC-MS/MSが導入されたことから，より感度の高いpg/mL程度まで測定を可能にすることが出来た。今年度，測定可能とした薬物は，クロザピン，パリペリドン，ミルタザピン，ラモトリジン，アムロジピン，テグレトールなどであり，皮膚科よりDPCP薬物中毒が疑われた症例においてもこれを用い，中毒域であることを明らかとした。
社会貢献	0.20	本年度，琉球大学医学部附属病院において，クリニカルシュミレーションセンターが設置開校されたことから，沖縄県全域の薬剤師に，県病院薬剤師会長として，薬剤師のバイタルサインなどのフィジカルアセスメントを学ばせること，さらには救急への対応を呼びかけ，啓蒙することを目的とする。	0.20	現在，沖縄県全域から参加型薬剤師フィジカルアセスメント講習が，月1-2度のペースでクリニカルシュミレーションセンターで開催されており，薬剤師リーダーが育成されつつあり，今後は彼らリーダーによる研修や，マニュアル執筆に取り掛かるところである。
管理運営	0.15	今年度，病棟業務加算として入院基本料が加算されたことから，病棟薬剤業務のさらなる発展と，業務充実を目的とする。また，現在薬学部長期実務実習生を，毎年10名以上受け入れていることから，彼らに携わる中堅薬剤師の育成と管理，さらには業務見直しを測る。	0.15	病棟薬剤業務については薬剤師不足のため行われていないが，現在，薬剤師増員を要請中である。しかしながら，病棟薬剤業務ワーキンググループを開催中であり，今後に生かす予定である。また，今年度は学生や新人薬剤師に教育を行う，NST，糖尿病，ガンなどの認定または専門薬剤師を3人合格させた。
進路指導	0.05	当薬物治療学講座の医学部大学院博士課程に1名，また九州大学薬学部大学院博士課程に1名入学させており，彼らにさらなる研究実績を積ませることを目的とする。また，今後博士課程への入学も増員させる予定である。	0.05	当薬物治療学講座の大学院生と，薬学部博士課程の大学院生には適正な進路指導を行い，それぞれ進級した。
領域	0.10	現在臨床の場で，外来化学療法業務を行っており，さらに薬剤部員の業務軽減化のために尽力する。さらにTDM該当薬剤を拡大，測定数増加に向け，実際の臨床効果を上げるためのTDM実践，指導することを目的とする。	0.10	外来化学療法は年々増加傾向であり，それらの需要に現在対応している，さらに休日の薬剤部無菌治療室開放によって，病棟での抗がん剤の被ばくは低下した。またTDM業務に対して，今年度の新人薬剤師1名が対応可能となった。
計	1.00		1.00	